

令和5年度

事業報告書及び決算報告書

公益財団法人 千葉県産業振興センター

目

次

| | |
|----------------------------------|----|
| I 令和5年度事業報告書 | |
| [I]事業の概要 | 3 |
| 1. 理事会等の開催状況 | 3 |
| (1) 理事会の開催状況 | 3 |
| (2) 評議員会の開催状況 | 4 |
| 2. 技術・研究開発、新事業育成等支援事業（公益目的事業） | 5 |
| (1) 新事業・新産業創出支援事業 | 5 |
| (2) 技術振興事業 | 9 |
| (3) ベンチャークラブちば支援事業 | 13 |
| 3. 経営基盤強化、地域活性化等支援事業（公益目的事業） | 14 |
| (1) 経営基盤強化支援事業 | 14 |
| (2) 取引振興事業 | 24 |
| (3) 設備貸与・設備資金貸付・被災貸付事業 | 28 |
| (4) ちばチャレンジ企業助成事業（中小企業総合支援事業） | 29 |
| (5) ちば中小企業元気づくり基金事業 | 30 |
| (6) ちば農商工連携事業支援基金事業 | 30 |
| (7) 地域課題解決型起業支援事業 | 30 |
| 4. 若年者の就業、人材育成等支援事業（公益目的事業） | 31 |
| (1) 若年者就業支援センター事業 | 31 |
| 5. 施設管理・研修・投資等事業（収益事業） | 39 |
| (1) 東葛テクノプラザ管理運営事業 | 39 |
| (2) 基盤強化事業 | 48 |
| (3) 千葉産業復興ファンド事業 | 49 |
| [II]附属明細書 | 50 |
| [III]関係資料 | |
| 1. 庶務に関する状況 | 51 |
| 2. 技術振興実施一覧 | 53 |
| 3. 経営基盤強化支援事業の状況 | 54 |
| 4. ちばチャレンジ企業助成事業（中小企業総合支援事業）実施一覧 | 55 |
| 5. ちば中小企業元気づくり基金事業実施一覧 | 61 |
| 6. ちば農商工連携基金事業実施一覧 | 62 |
| 7. 地域課題解決型起業支援事業実施一覧 | 62 |
| II 令和5年度決算報告書 | |
| 1. 貸借対照表 | 65 |
| 2. 正味財産増減計算書 | 68 |
| 3. キャッシュ・フロー計算書 | 72 |
| 4. 財務諸表に対する注記 | 74 |
| 5. 附属明細書 | 79 |
| 6. 財産目録 | 80 |
| 独立監査人の監査報告書 | 83 |
| 監査報告書 | 86 |

令和5年度 事業報告書

I 令和5年度事業報告書

[I]事業の概要

1. 理事会等の開催状況

(1) 理事会の開催状況

| 回数 | 開催年月日 | 会場 | 議案番号 報告番号 | 件名 | 備考 |
|-----|----------------|---------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 第1回 | 令和5年 4月1日 | 公益財団法人 千葉県産業振 興センター | 議案 第1号 第2号 第3号 第4号 | 常務理事及び業務執行理事 の選定の件 常勤理事の報酬月額 の件 常勤役員への担当業務の委 嘱の件 会計監査人の報酬年額 の件 | 理事総数 9名 出席理事 6名 |
| 第2回 | 令和5年 5月29日 | 三井ガーデン ホテル千葉 | 議案 第1号 第2号 第3号 第4号 報告 第1号 | 令和4年度事業報告及び計 算書類等の承認の件 令和5年度定時評議員会 の招集の件 評議員候補者の選任の件 理事候補者の選任の件 職務執行状況の報告につ いて | 理事総数 9名 出席理事 8名 |
| 第3回 | 令和5年 6月9日 | ホテルポート プラザちば | 議案 第1号 第2号 第3号 | 理事長（代表理事）の選 定の件 常務理事の選定の件 業務執行理事の選定の件 | 理事総数 9名 出席理事 6名 |
| 第4回 | 令和5年 10月10日 | みなし決議 | 議案 第1号 | 令和5年度事業計画の変 更及び収支予算の補正の 件 | 理事総数 9名 同意理事 9名 |
| 第5回 | 令和5年 12月19日 | みなし決議 | 議案 第1号 第2号 | 令和5年度収支予算の補 正の件 常勤理事の報酬月額 の件 | 理事総数 9名 同意理事 9名 |
| 第6回 | 令和6年 3月18日 | 三井ガーデン ホテル千葉 | 議案 第1号 第2号 第3号 報告 第1号 | 令和6年度事業計画及び 収支予算の件 令和6年度資金調達及び 設備投資の見込みの件 令和5年度収支予算の補 正の件 職務執行状況の報告につ いて | 理事総数 9名 出席理事 7名 |

(2) 評議員会の開催状況

| 回数 | 開催年月日 | 会場 | 議案番号 報告番号 | 件名 | 備考 |
|-----|---------------|-----------------|-------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------|
| 第1回 | 令和5年 4月1日 | みなし決議 | 議案 第1号 第2号 | 評議員1名の選任の件 理事1名の選任の件 | 評議員総数 17名 同意評議員 17名 |
| 第2回 | 令和5年 5月19日 | みなし決議 | 議案 第1号 第2号 | 評議員2名の選任の件 理事1名の選任の件 | 評議員総数 17名 同意評議員 17名 |
| 第3回 | 令和5年 6月9日 | ホテルポート プラザちば | 議案 第1号 第2号 報告 第1号 | 評議員17名選任の件 理事4名選任の件 令和4年度事業報告及び計 算書類等の報告の件 | 評議員総数 17名 出席評議員 14名 |
| 第4回 | 令和5年 8月4日 | みなし決議 | 議案 第1号 | 評議員1名の選任の件 | 評議員総数 17名 同意評議員 17名 |

2. 技術・研究開発、新事業育成等支援事業（公益目的事業）

（1）新事業・新産業創出支援事業

新事業・新産業創出の中核的支援機関として、産学官連携のための支援体制を構築し、成長分野における研究開発の取組を促進する等、意欲のある県内中小・ベンチャー企業に対して積極的かつきめ細かな支援を行い、新事業・新産業創出を推進した。

ア 「ちば新事業創出ネットワーク」の活動状況

「ちば新事業創出ネットワーク」を編成し、業種や産業分野にとらわれない産学官交流・産産交流の機会を提供するとともに、共同研究や製品開発に向けたコーディネート活動を展開した。

（ア）ちば新事業創出ネットワーク会員数 711社・機関

（イ）ちば新事業創出ネットワークセミナーの開催

| 開催年月日 | 会場 | テーマ | 講師 | 参加者 |
|----------------|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和5年 10月11日 | ホテルグリーン タワー幕張 | 脱炭素社会に 向けた産学官 の取組 | ① 市民エネルギーちば株式会社 ／株式会社TERRA 代表取締役 東 光弘 氏 ② 株式会社イゼナ 熱環境プロデューサー 設計室長 前田 朋子 氏 ③ 千葉大学大学院融合理工学府 先進理化学専攻 共生応用化学コース 教授 松野 泰也 氏 ④ 千葉県環境生活部 温暖化対策推進課 | 32名 |
| 令和5年 11月22日 | 船橋商工会議所 | A I を活用した 研究開発へ 向けた産学官 の取組～切削 加工A I の実 例紹介とA I 研究の最前線 ～ | ① 株式会社武井製作所 業務部 丸山 寛勝 氏 ② 株式会社MAZIN 取締役 内山 祐介 氏 ③ 東京電機大学 未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科 教授 中村 明生 氏 ④ 経済産業省関東経済産業局 | 33名 |
| 令和6年 2月 8日 | 日本大学生産工 学部津田沼キャン パス | ものづくりに おけるセンシ ングやシミュ レーションの 活用 | ① 日本大学生産工学部機械工学科 特任教授 高橋 進 氏 ② 株式会社Y Gソリューションズ COO 金 秀英 氏 ③ 三井電気精機株式会社 取締役専務 三井 保宏 氏 | 34名 |

| 開催年月日 | 会場 | テーマ | 講師 | 参加者 |
|---------------|------------------|-------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和6年 2月28日 | ホテルグリーン タワー幕張 | 令和6年度中 小企業支援策 の重点 | ① 経済産業省関東経済産業局 ② 国立研究開発法人産業技術総合研究所 ③ 国立研究開発法人科学技術振興機構 ④ 独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 ⑤ 千葉県商工労働部産業振興課 | 71名 |

イ 研究開発コーディネーターの活動状況

新事業支援部に研究開発コーディネーター計5名を配置し、他の専門支援人材等との有機的な連携を強化し、企業ニーズと研究シーズのマッチング、競争的資金の獲得支援や、共同研究・製品開発から研究成果の事業化までを一貫支援した。

(ア) 訪問・来訪件数

| | |
|--------------|------|
| a 企業訪問・来訪相談等 | 524件 |
| b 大学他研究機関 | 100件 |
| c その他関係機関 | 261件 |

(イ) 主な支援活動

| | |
|-----------|------|
| a 補助金関連支援 | 449件 |
| b 技術関連支援 | 116件 |
| c 販路開拓支援 | 8件 |
| d 知財関連支援 | 9件 |
| e その他の支援 | 71件 |

(ウ) 競争的資金等の獲得支援

| | |
|----------------|---------------|
| a 支援件数 | 33件 |
| b うち、採択件数／採択金額 | 27件／315,807千円 |

ウ 産学官連携・産産連携支援のためのデータベースの運用・管理

支援企業の概要、支援状況等を相互に整理、把握できるデータベース及びネットワークシステムを運用・管理し、効率的な産学官連携・産産連携支援を展開した。

エ 中小企業知財活用支援事業

知財相談窓口を設置し、知財戦略プロデューサーによる中小企業への制度普及の啓発活動、出願支援、戦略的活用等の知財支援を実施した。

(ア) 知財戦略プロデューサーによる相談支援

・相談件数 延べ70件

(イ) 戦略的特許活用講習会（オンラインセミナー）の開催

| 開催年月日 | 会場 | テーマ | 講師 | 参加者 |
|----------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和5年 10月26日 | ホテル グリーン タワー 幕張 | 「企業×弁理士 に聞く！知的戦 略のホンネ」 ①事例発表「私 たちの知財の歩 み」 ②パネルディス カッション「本 音の知財トー ク！プロと語る 知財戦略」 ③制度紹介「千葉 県の支援制度に ついて」 | ① (株) アイ・メデックス 代表取締役社長 市田 誠 氏 おもと国際特許商標事務所 弁理士 黒沼 吉行 氏 (株) モノベエンジニアリング 取締役社長 物部 長智 氏 こだま国際特許商標事務所 弁理士 高橋 昌義 氏 ②京橋知財事務所 弁理士 相田 悟 氏 (株) アイ・メデックス 代表取締役社長 市田 誠 氏 おもと国際特許商標事務所 弁理士 黒沼 吉行 氏 (株) モノベエンジニアリング 代表取締役会長 物部 長順 氏 取締役社長 物部 長智 氏 こだま国際特許商標事務所 弁理士 高橋 昌義 氏 ③ (公財) 千葉県産業振興 センター | 54名 |
| 令和6年 2月21日 | ベンチャー プラザ船橋 会議室 | 「知財から始め る！海外進出」 ①「海外におけ る知財戦略」 ②「海外ビジネ ス支援パッケー ジについて～中 小企業の皆さま をサポート～」 ③「目指せ海外 進出！～ジェト ロ支援のご案内 ～」 | ①弁理士法人南青山国際特許 事務所 アソシエイト カセム&アソシエイツ法律 知財事務所（タイ国）顧問 弁理士 金子 彩子 氏 ②独立行政法人中小企業基盤 整備機構 関東本部 ③独立行政法人日本貿易振興機構 (JETRO) 千葉貿易情報 センター | 27名 |

オ 中小企業等外国出願支援事業

中小企業の戦略的な外国出願を促進するため、外国への事業展開を計画している中小企業に対して、外国出願（特許、実用新案、意匠、商標、冒認対策商標）にかかる費用への助成を実施した。

・助成件数 8件 交付額 4,516,000円

カ 生産性向上のための設備投資補助申請受付窓口事業

県内中小企業者等が行う生産性向上と省エネルギーの促進等に資する設備投資を後押しするため、ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（以下：ものづくり補助金）に対する県の上乗せ補助金の申請受付窓口を設置し、業務管理者1名及び業務推進事務員2名により補助金申請にかかる相談・助言、受付業務を行うほか、説明会開催等により制度の周知を行った。

(ア) 相談対応

・相談件数 483件

(イ) 申請書・報告書受理件数

a 申請書受理件数 153件

金額 176,698,142円

b 報告書受理件数 150件

金額 173,319,540円

(ウ) ものづくり補助金への上乗せ補助制度等に関する説明会の開催

・開催回数 11回

(エ) ものづくり補助金、事業計画書作成などに関する勉強会（ワークショップ）の開催

・開催回数 16回

(2) 技術振興事業

国の委託事業及び補助事業の管理法人として中小企業、大学、公的研究機関等との共同研究を促進するとともに、技術課題の解決に積極的に取り組んだ。

ア 成長型中小企業研究開発支援事業

産学官が連携して行う、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に定める特定ものづくり基盤技術に関する研究開発を支援するため、経済産業省（関東経済産業局）から最大3年間の支援の受けられる成長型中小企業研究開発支援事業の管理法人として補助を受け、2件の産学官共同研究を支援した。

事業の概要はP 53のとおりである。

継続件数 1件（2年目） 確定額 23,666千円

新規件数 1件（1年目） 確定額 27,249千円

イ 戦略的基盤技術高度化支援事業

産学官が連携して行う、中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律に定める特定ものづくり基盤技術に関する研究開発を支援するため、経済産業省（関東経済産業局）から最大3年間の支援の受けられる戦略的基盤技術高度化支援事業の管理法人として補助を受け、2件の産学官共同研究を支援した。

事業の概要はP 53のとおりである。

継続件数 2件（3年目） 確定額 51,942千円

ウ 医療機器等開発・交流拠点創出事業

健康・医療産業に精通し、医療機器開発に関する経験や知識を有する専門人材（メディカル・コンシェルジュ）3名を配置し、医療現場からのニーズの集約化、企業へのニーズ提供、試作品に関するアドバイス、医療機関・医療機器メーカーと中小企業のマッチング、事業化を進めるうえで

の相談等、製品開発に関する総合的なサポートを実施し、健康・医療分野への新規参入と医工連携等による商品開発及び事業化促進を支援した。

また、中核医療研究機関内千葉県拠点にも医療機器等の開発に精通する専門人材（医療機器開発コーディネーター）2名を配置し、中核医療研究機関との連携を強化することで、新たなニーズの発掘や地域企業との交流並びに橋渡しを行い、製品開発及び事業化促進を支援した。

(ア) ちばメディカルネットワークへの登録推進

健康・医療関連産業への新規参入及び医工・産学連携による製品化・事業化に意欲的な中小企業（既存参入を含む）のグループ化（無料会員登録）を推進した。

・登録企業数 414社

(イ) 医療機器等の開発に係るセミナー等の開催

医療機器等の開発を支援するため、現場ニーズと企業シーズとのマッチングイベントを始め、医療現場の見学会や各種セミナー等を行った。

| セミナー名 | 開催年月日 | 講師・参加者 |
|----------------------------------------------------------|----------------|------------------------------------------------------------------|
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第1回 | 令和5年 5月23日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他7名 参加者 13名 |
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第2回 | 令和5年 6月27日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他5名 参加者 10名 |
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第3回 | 令和5年 7月25日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他5名 参加者 15名 |
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第4回 | 令和5年 9月26日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他8名 参加者 10名 |
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第5回 | 令和5年 10月23日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他14名 参加者 10名 |

| セミナー名 | 開催年月日 | 講師・参加者 |
|----------------------------------------------------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第6回 | 令和5年 11月28日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他 2 名 参加者 11 名 |
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第7回 | 令和5年 12月26日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他 5 名 参加者 11 名 |
| 千葉大学医学部附属病院 亥ノベーションの森プロジェクト「続々亥ノベーション・オンライン Show会」第8回 | 令和6年 1月23日 | 評価者 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 他 5 名 参加者 10 名 |
| 千葉大学医学部附属病院 見学会 (人工腎臓部・手術部見学) | 令和5年 8月28日 | アテンド 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 参加者 3 名 |
| 千葉大学医学部附属病院 見学会 (泌尿器科見学) | 令和6年 1月12日 | アテンド 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 参加者 4 名 |
| 千葉大学医学部附属病院 見学会 (脳神経外科見学) | 令和6年 1月24日 | アテンド 千葉大学医学部附属病院 メドテック・リンクセンター センター長 林 秀樹 氏 参加者 3 名 |
| 臨床工学技士会連携セミナー ～出口を見据えた入口戦略！医療現場ニーズの市場規模を分析する手法を学ぼう！～ | 令和5年 9月1日 | 講 師 株式会社メディカルラボパート ナーズ 清水 美雪 氏 亀田総合病院 関根 広介 氏 三橋病院 井竹 康郎 氏 旭中央病院 大石 正人 氏 参加者 25 名 |
| メディカルジャパン東京 千葉県ブース出展企業向けセミナー「スマホで始める！商品・サービスPR動画の作り方」 | 令和5年 9月7日 | 講 師 HopeFilms 中山 望 氏 参加者 15 名 |
| メディカルジャパン東京 千葉県ブース出展企業向けセミナー「展示会の効果的な活用方法」 | 令和5年 9月11日 | 講 師 株式会社メディカルラボパート ナーズ 清水 美雪 氏 参加者 18 名 |
| がん領域臨床ニーズマッチング会 | 令和5年 10月17日 | 発表者 12 名 参加者 167 名 |

| セミナー名 | 開催年月日 | 講師・参加者 |
|------------------------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 経済産業省「医療・福祉機器産業室の施策について」セミナー | 令和6年 1月18日 | 講師 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 係長 泉水 優佑 氏 係員 松岡 実穂 氏 参加者 61名 |
| 本郷商談会・展示会 | 令和6年 2月16日 | 出展者 10団体 参加者 62名 |

(ウ) 専門家派遣

医療者、中小企業者等の複数の事業者が連携して取り組む開発プロジェクトに対して、課題解決に必要とする専門家をアドバイザーとして派遣した。また、医療機器等を開発・製造・販売する上での業許可や認証取得のための専門家派遣を行った。

| | | | |
|-------|----|------|-----|
| 派遣企業数 | 5社 | 派遣日数 | 32日 |
|-------|----|------|-----|

(エ) 個別支援実績

| | |
|-----------------|--------|
| 相談対応件数 | 1,076件 |
| 医療機関等からのニーズ収集件数 | 82件 |
| マッチング件数 | 259件 |
| 共同開発件数 | 10件 |

エ 「ベンチャープラザ船橋」入居企業等の支援

ベンチャープラザ船橋の円滑な管理・運営を行い、入居企業（18社：3月末現在）をはじめとする中小企業者に対して、研究開発、製品化、販路開拓等を総合的かつ継続的に支援した。

(3) ベンチャークラブちば支援事業

千葉県経済界が一体となったベンチャー支援組織である「ベンチャークラブちば」と民間企業、公的支援機関等とのネットワークを強化し、資金調達や販路拡大等の支援を行った。

ビジネスプラン発表会 1回

フォローアップ 18社

・ビジネスプラン発表会

ホテルグリーンタワー幕張にて開催した。

○開催年月日：令和6年2月2日

○会場：ホテルグリーンタワー幕張（千葉市美浜区）

○内容：第40回ビジネスプラン発表会

【ベンチャークラブちば大賞】

株式会社さかなドリーム

【ベンチャークラブちば準大賞】

A 'C u l t u r e 株式会社

【優秀賞】

株式会社C S Pアドバンスソリューションズ

株式会社M a m a W e l l

株式会社リーフ・ラボ

【ベンチャースピリッツ賞】

N e w e Z 株式会社

3. 経営基盤強化、地域活性化等支援事業（公益目的事業）

（1）経営基盤強化支援事業

本県における中小企業の中核的支援機関としての役割を果たすため、経営・金融・技術・IT・創業等に関する相談窓口を一本化してワンストップで支援するチャレンジ企業支援センターを運営し、中小企業の様々なニーズに応じたきめ細かい支援を行ったほか、千葉県よろず支援拠点を設置し、経営支援機能を充実させた。

併せて、地域資源等を活用した新たな事業にチャレンジする企業を総合的に支援した。

ア プロジェクトマネージャー等支援人材充実強化事業

プロジェクトマネージャーとして、経営・創業・金融・技術・IT・事業承継分野等に精通した専門人材7名を配置し、相談・助言を行った。

また、コロナ対策プロジェクトマネージャー10名を配置し、総勢17名体制で、新型コロナや原油価格・物価高騰等によって、売上減などの影響を受けた中小企業に対し、課題の整理や相談・助言等を行った。

- ・プロジェクトマネージャー 7名

（経営1名、技術1名、IT1名、創業1名、事業承継3名）

- ・コロナ対策プロジェクトマネージャー10名（中小企業診断士）

イ 事業可能性評価委員会運営事業

県内の中小企業者等からの要請に応じて、新規事業計画（ビジネスプラン）の事業化の有望性や、技術の先進性等、事業の可能性の審査・評価等を行うため、千葉県事業可能性評価委員会を開催した。

| 開催年月日 | 結果概要 |
|------------|----------------------------|
| 令和5年8月1日 | 1社のビジネスプラン評価を行った。 (建設業) |
| 令和5年12月19日 | 1社のビジネスプラン評価を行った。 (製造業) |

ウ 窓口相談事業

経営上の問題等についての相談窓口を開設し、プロジェクトマネージャー及び職員が相談に応じ、より専門的な知識を要する相談については専門家を活用して、適時、適切な相談・助言等を行った。

また、経営上で生じた法律に係る問題等については、随時弁護士を活用して問題の解決を図るための相談・助言体制を整えた。

| | | | |
|--------|---------|-----------------|----|
| 窓口相談件数 | 4, 278件 | 専門家窓口相談件数 | 3件 |
| 法律相談件数 | 1件 | ※内訳は別表（P54）のとおり | |

エ 訪問相談事業

窓口相談では対応できない課題に対して、専門家が企業訪問の上、現場確認を通じて把握した問題点等に対する改善提案を行った。

| | | | |
|--------|-----|--------|-----|
| 訪問相談件数 | 47件 | 訪問相談日数 | 92日 |
|--------|-----|--------|-----|

オ 専門家派遣事業

種々の問題（経営、技術、人材、情報化等）を抱える中小企業者や創業者・ベンチャー企業あるいは新事業・新分野を構築しようとする中小企業者等の求めに応じ、経営、技術、情報等に精通した専門家を派遣し、経営診断・技術助言を行った。

(ア) 派遣企業数及び派遣日数

| | | | |
|-------|-----|------|------|
| 派遣企業数 | 95社 | 派遣日数 | 768日 |
|-------|-----|------|------|

(イ) 業種別の派遣状況

| 業種 | 日数 | 企業数 | 1社あたりの平均派遣日数 |
|-------|-----|-----|--------------|
| 製造業 | 326 | 41 | 8.0 |
| 卸売業 | 69 | 8 | 8.6 |
| 建設業 | 64 | 7 | 9.1 |
| 小売業 | 30 | 4 | 7.5 |
| サービス業 | 269 | 34 | 7.9 |
| その他 | 10 | 1 | 10.0 |
| 小計 | 768 | 95 | 8.1 |

(ウ) テーマ別の派遣状況

| テーマ | 日数 | 企業数 | 1社あたりの平均派遣日数 |
|---------|-----|-----|--------------|
| 経営全般 | 652 | 81 | 8.1 |
| マーケティング | 24 | 3 | 8.0 |
| 資金 | 0 | 0 | 0 |
| 法律 | 0 | 0 | 0 |
| 労務 | 9 | 1 | 9.0 |
| 技術 | 31 | 4 | 7.8 |
| ビジネスプラン | 0 | 0 | 0 |
| IT | 28 | 3 | 9.3 |
| 会社設立 | 0 | 0 | 0 |
| ISO | 24 | 3 | 8.0 |
| 事業承継 | 0 | 0 | 0 |
| BCP | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 |
| 小計 | 768 | 95 | 8.1 |

カ フロンティア企業支援事業

事業可能性評価委員会においてビジネスプランを発表し、独自性または有望性があると評価を受けた中小企業等に対して専門家を派遣して支援を行った。

| | | | |
|----------|----|---------|------|
| 専門家派遣企業数 | 5社 | 専門家派遣日数 | 100日 |
|----------|----|---------|------|

キ セミナー開催事業

中小企業が抱える経営上の課題解決や経営の向上及び創業する上で必要となる実践的な知識・ノウハウ等を習得するための各種セミナーを開催した。

(ア) 経営革新セミナー（オンライン配信）

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 参加者 |
|--------------|-------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和6年 2月8日 | オンライン 開催 | 経営革新計画作成の コツ、教えます！ | 1. 経営革新計画の申請にあ たって 千葉県商工労働部 経営支援課 経営支援班 主事 織田 計紀氏 2. 経営革新計画作成のコツ、 教えます！ 川村中小企業診断士事務所 代表 川村 浩司氏 3. 経営革新計画作成等の支 援策の紹介 (公財) 千葉県産業振興セン ター 経営支援部総合相談課 | 47名 |

(イ) BCPセミナー（会場開催）

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 参加者 |
|--------------|----------------------|---------------------------------------------|--------------------------------|-----|
| 令和6年 2月6日 | ホテルグ リーント ワー幕張 | 半日で策定できる！ BCP ワークショップ <災害から企業を守 る> | 東京海上日動火災保険(株) 茂原支社長代理 中村和弘氏 | 33名 |

(ウ) 創業セミナー（会場開催）

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 参加者 |
|----------------|---------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和5年 11月16日 | ホテルポー トプラザち ば | ①創業して顧客をつ くるためのコツとビ ジネスプランの立て 方 ②千葉県産業振興セ ンターの紹介 | ① (株) コンセライズ 代表取締役 岩瀬 敦智氏 ② (公財) 千葉県産業振興 センター 経営支援部総合相談課 | 54名 |

(エ) 事業承継セミナー（会場開催・オンライン配信）

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 参加者 |
|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 令和5年 12月5日 千葉県信用 保証協会と の連携開催 | 会場とオン ラインのハ イブリット 開催 ※会場： 千葉県信用 保証協会 幕張サポー トセンター | 「社長とアトツギで 一步踏みだす！」 | ジャイロ総合コンサルティ ング(株) 代表取締役 渋谷 雄大 氏 (公財) 千葉県産業振興セン ター 経営支援部総合相談課 | 会場： 34名 オンラ イン： 76名 |

(オ) ITセミナー (会場開催)

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 参加者 |
|----------------|--------------|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和5年 10月16日 | ホテルグリーンタワー幕張 | ～いざ、DX！中小企業の経営を強くするデジタル活用術～ | ①中小企業診断士／つなぐ経営コンサルティング 代表 保坂 敦之 氏 ②藤恵工業株式会社 代表取締役 伊藤 啓悟 氏 ③野水鋼業株式会社 代表取締役 野水 俊明 氏 ④公益財団法人千葉県産業振興センター 経営支援部総合相談課 | 45名 |

(カ) 経営支援セミナー (オンライン配信)

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 参加者 |
|---------------|---------|-------------------------|-----------------------|-----|
| 令和5年 6月16日 | オンライン開催 | 個人・小規模事業者向けのインボイス制度セミナー | 渋谷中央会計事務所 代表 大西 周氏 | 43名 |

ク よろず支援拠点事業

中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対する「総合的・先進的経営アドバイス」、事業者の課題に応じた適切な「チームの編成を通じた支援」、「的確な支援機関等の紹介」等を通じて、売上拡大、再生・経営改善、創業・成長分野参入等に係る支援を実施した。また、千葉県中小企業支援プラットフォームを核とした連携会議を開催するとともに、各種セミナーの開催及び県内25箇所にサテライト相談所を開設し、県内中小企業・小規模事業者へ向けた経営支援を実施した。

(ア) 相談対応件数 5,307件

・支援場所 (支援窓口) 4,903件

・支援場所 (訪問先) 404件

(イ) 千葉県よろず支援拠点連携会議

| 開催年月日 | 会場 | 参加者 |
|-----------|--------------------|-----|
| 令和5年7月27日 | ホテルグリーンタワー幕張 (千葉市) | 60名 |
| 令和6年3月4日 | ホテルグリーンタワー幕張 (千葉市) | 69名 |

※千葉県中小企業支援プラットフォーム等との合同開催

(ウ) ステップアップセミナー

・開催回数 2回

・受講者数 54名

(エ) 経営ピンポイントセミナー

・開催回数 126回

・受講者数 463名

(オ) 県内支援機関等が主催するセミナーへのコーディネーター派遣

・開催回数 57回

・受講者数 1,583名

(カ) 千葉県信用保証協会等の職員向け研修へのコーディネーター派遣

・開催回数 5回

(サ) サテライト相談所

| エリア | 開催日 | 連携機関・開催場所 |
|---------------------------|-------|-----------------------------------------------------|
| 木更津市 君津市 富津市 | 第1火曜日 | 木更津商工会議所 君津商工会議所 富津市 (月1回持ち回り) |
| 市原市 袖ヶ浦市 | 第1水曜日 | 市原商工会議所 袖ヶ浦市商工会 (月1回持ち回り) |
| 柏市 流山市 | 第1木曜日 | 柏商工会議所 流山商工会議所 東京ベイ信用金庫柏支店 (月1回持ち回り) |
| 銚子市 香取市 匝瑳市 旭市 | 第2火曜日 | 銚子商工信用組合 本店・佐原支店・干潟支店・旭支店 (月1回持ち回り) |
| 佐倉市 | 第2水曜日 | 佐倉市スマートオフィスプレイス 「C o - L A B O S A K U R A」 |
| 館山市 南房総市 鴨川市 鋸南町 | 第2水曜日 | 館山信用金庫 本店・那古船形支店・千倉支店・鋸南支店・ 鴨川支店 (月1回持ち回り) |
| 銚子市 | 第2木曜日 | 銚子商工会議所 |
| 市川市 浦安市 松戸市 野田市 | 第2金曜日 | 東京ベイ信用金庫 本店・浦安支店・松戸支店・野田支店 (月1回持ち回り) |

| エリア | 開催日 | 連携機関・開催場所 |
|---------------------------------------|-------|-----------------------------------------------------------|
| 茂原市 一宮町 いすみ市 鴨川市 | 第3火曜日 | 房総信用組合 本店・一宮支店・大原支店・鴨川支店 (月1回持ち回り) |
| 東金市 大網白里市 山武市 | 第3水曜日 | 東金商工会議所 大網白里市 山武市商工会 (月1回持ち回り) |
| 成田市 | 第3木曜日 | 成田商工会議所 |
| 白井市 八千代市 鎌ヶ谷市 | 第3金曜日 | 白井工業団地産業振興センター 八千代商工会議所 鎌ヶ谷市 (月1回持ち回り) |
| 東金市 八街市 富里市 松戸市 銚子市 柏市 | 第4火曜日 | 銚子商工信用組合 東金支店・八街支店・富里支店・松戸支店・ 松岸支店・柏支店 (月1回持ち回り) |
| 館山市 南房総市 | 第4水曜日 | 渚の駅たてやま 南房総市役所 (月1回持ち回り) |
| 市川市 | 第4金曜日 | 市川市 |

ケ 支援機関等連携（人材交流強化）促進事業

(ア) 千葉県中小企業支援機関連携促進会議の開催

県内中小企業支援機関等との相互連携及び情報の共有化を目的とした連携会議を千葉県よろず支援拠点連携会議と合同開催した。

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 参加者 |
|--------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和6年 3月4日 | ホテルグリーン タワー幕張 (千葉市) | 令和5年度実績報告について 令和5年度支援事例について 令和6年度活動計画について 令和6年度国の中小企業施策について | 69名 |

(イ) 他県の中小企業支援機関との情報交換や広域的な連携強化を目的として、ブロック単位で開催する情報交換会等に参加した。

(ウ) 千葉県中小企業支援プラットフォーム

「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」により構築した千葉県中小企業支援プラットフォーム（構成機関：45機関）について、連絡会議を2回開催した。

コ 中小企業販路開拓総合支援事業

自社製品を持つ、又は自社技術及び製品の開発を進める中小企業等を対象に、販路開拓に関する知見を有する人材及び具体的な課題解決にあたる中小企業診断士等の専門人材を販路アドバイザーとして3名配置し、企業が抱える販路に関する問題・課題に対して、相談、アドバイス等の支援を行った。

また、成果が出る展示会出展にするための取り組み方、自社製品や技術を効果的にPRする動画を作成するためのノウハウや活用方法の習得に関するセミナーを開催した。

(ア) 支援企業数 84社

支援延べ件数 221件

(イ) セミナー

| | 開催年月日 | 会場 | テーマ | 参加者 |
|-----|-----------------------------------|-------------------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 第1回 | 令和5年 6月16日 | 千葉県産業振興センター | 「成果が出る!展示会出展の基本とコツ ~準備からアフターフォローまで~」 | 7社 10名 |
| 第2回 | 令和5年 7月14日 | 船橋商工会議所 とオンライン | 「展示会・商談会を活用した販路開拓セミナー」 | 会場 10社 13名 オンライン 4社 4名 |
| 第3回 | 令和5年 11月10日 | 船橋商工会議所 | 「成果が出る!展示会出展の基本とコツ ~準備からアフターフォローまで~」 | 5社 14名 |
| 第4回 | 令和5年 11月22日 12月6日 12月20日 | 幕張テクノガーデン | 「プロから学ぶ実践ワークショップ スマホ&パワポで動画制作!」(全3日) | 4社 4名 |
| 第5回 | 令和6年 1月17日 1月24日 2月7日 | 幕張テクノガーデン | 「プロから学ぶ実践ワークショップ スマホ&パワポで動画制作!」(全3日) | 4社 6名 |

サ プロフェッショナル人材戦略拠点事業

人材確保を通じて県内中小企業の成長戦略を具現化していくために、マネージャー5名を配置し、経営者との相談によるプロフェッショナル人材ニーズの掘り起しを行った。

また、地域金融機関・地元経済団体・民間人材ビジネス事業者と連携して事業推進を図るための戦略協議会を開催するとともに、成長戦略とプロフェッショナル人材の必要性について、マインド醸成のためのセミナー及び連携大企業との交流会を開催した。

- (ア) 企業相談件数 440件
 成約件数 110件
 (内：副業37件 デジタル22件)

(イ) 千葉県プロフェッショナル人材戦略協議会

| 開催年月日 | 会場 | 参加者 |
|------------|---------------|-----|
| 令和5年 6月 8日 | 千葉市文化センター 会議室 | 17名 |
| 令和5年11月17日 | オンライン開催 | 14名 |
| 令和6年 3月19日 | オンライン開催 | 17名 |

(ウ) セミナー

| 開催年月日 | 会場 | テーマ | 参加者 |
|---------------|---------|-------------------------------|-----|
| 令和5年 9月14日 | オンライン開催 | “副業人材”活用セミナー&個別相談会 in 千葉 | 30名 |
| 令和6年 2月21日 | オンライン開催 | 人材確保の新常識！副業人材の活用術伝授セミナー&個別相談会 | 25名 |
| 計 | | | 55名 |

(エ) 交流会

| 開催年月日 | 会場 | テーマ |
|----------------|----------|-------------------------------|
| 令和5年 10月27日 | メイプルイン幕張 | 県内中小企業7社と大企業2社との人材情報交換会・個別相談会 |

他 個別案件で11社合計15職種の人材ニーズのマッチングを行った

シ 事業承継支援緊急対策事業

事業継続意欲が失われている中小企業の事業承継を促進するため、中小企業診断士等の専門人材をアドバイザーとして14名配置し、企業訪問等により中小企業が抱える経営課題の抽出と事業承継への気づきを促した。

- ・企業訪問件数 5,875件（延べ訪問件数 9,504件）
- ・アンケート実施件数 2,669件
- ・その他相談件数 385件

ス 千葉県産業情報ヘッドライン事業

県内の経済団体等と連携して、県内中小企業等に対し、インターネットメール配信により、時機をつかんだ有益な経済・産業情報等を提供する「千葉県産業情報ヘッドライン事業」を実施した。

- ・配信回数 49回（令和5年4月～令和6年3月）
- ・配信登録件数 5,496件（令和6年3月末日現在）

セ 中小企業災害復旧資金利子補給助成金事業

株式会社日本政策金融公庫及び株式会社商工組合中央金庫が行う「東日本大震災復興特別貸付」等により借入を行う中小企業者等のうち、地震・津波等により事業所が全壊又は流失した中小企業者等を対象として、独立行政法人中小企業基盤整備機構からの助成金による利子補給体制を整えた。

ソ 中小企業再生支援利子補給助成金事業

東日本大震災及び原子力発電所の事故による被害を受けた中小企業者等及び中小企業団体が千葉県産業復興相談センターを活用した事業再建に取り組むに当たり、相談センターが認めた相談開始日から相談センターが千葉産業復興機構に対して債権買取を要請した日または再生計画を策定もしくは事業計画を作成した日までの期間を対象として、独立行政法人中小企業基盤整備機構からの助成金による利子補給体制を整えた。

(2) 取引振興事業

下請中小企業の取引拡大と受注量の確保を図るため、職員や専門指導員による県内外の大手企業に対する発注案件の開拓、商談会の開催、下請取引あっせん等の各種事業を実施した。

ア 取引情報収集提供事業

(ア) 登録の推進

| 登録区分 | 新規登録企業数 | 登録企業総数 |
|------|---------|--------|
| 発注企業 | 9社 | 996社 |
| 受注企業 | 19社 | 2,365社 |
| 合計 | 28社 | 3,361社 |

(イ) 企業訪問の実施

| | |
|--------------------|--------|
| 訪問企業数 | 1,373社 |
| (内訳) 発注企業 (発注開拓訪問) | 203社 |
| 受注企業 (巡回訪問) | 1,123社 |
| 未登録企業 (登録勧奨訪問) | 47社 |

(ウ) 発注余力調査

| | |
|-----------------------|--------|
| a 第1回発注企業余力調査 (8月) | |
| ・調査対象 (発注・受発注登録企業) | 1,788社 |
| ・発注余力あり (将来発注余力ありを含む) | 10社 |
| b 第2回発注企業余力調査 (1月) | |
| ・調査対象 (発注・受発注登録企業) | 1,788社 |
| ・発注余力あり (将来発注余力ありを含む) | 10社 |

(エ) 専門指導員による相談・助言

専門指導員4名により、県内外の登録企業等を訪問し、発注開拓、情報収集・提供、登録勧奨等の巡回訪問と併せ、経営・技術に関する相談・助言等を実施した。

(オ) 下請取引の紹介あっせん

| 項目 | 令和5年度実績 |
|-----------|---------|
| 発注あっせん申し出 | 136件 |
| 受注あっせん申し出 | 74件 |

| 項目 | 令和5年度実績 |
|--------|-----------|
| 紹介あっせん | 406件 |
| 取引成立 | 50件 |
| 当初成約金額 | 166,788千円 |

(カ) 経営・技術相談指導

下請取引に伴う相談指導

| 項目 | 令和5年度実績 |
|----------|---------|
| 取引あっせん関係 | 269件 |
| 経営・融資関係 | 83件 |
| 技術関係 | 15件 |
| 苦情・紛争関係 | 699件 |
| その他 | 44件 |
| 合計 | 1,110件 |

(注) 苦情・紛争関係件数は下請かけこみ寺事業の各種相談件数を含む。

イ 受発注情報収集提供事業

(ア) 調査

a 登録企業機械設備調査

受注登録企業巡回訪問において、主要生産機械設備の増減、設備投資計画等について調査し、登録データの更新を実施した。

b 名簿等利用状況調査

登録企業に配布している「受発注情報」、「登録企業名簿」の利用状況をアンケート調査し、下請取引に係る企業間の折衝結果をフォローした。

- ・調査対象 センター登録企業 3,369社
- ・調査時期 令和6年2月
- ・取引成立件数 28件
- ・成立金額 140,390千円

(イ) 情報の提供

- a 「受発注情報」のメール・FAX送信（センター登録企業）
メール・FAX送信回数 14回／年（うち号外2回）

b 受発注情報等の掲載

センターのホームページやメールマガジン等を活用し、各種情報（受発注情報、各種商談会・研修会等の開催案内）を提供した。

ウ ビジネスマッチング商談会開催事業

(ア) 個別マッチング商談会

発注企業の具体的な発注案件のタイミングに合わせた商談会を実施した。

| 開催年月日 | 発注企業 | 会場 | 参加者 |
|---------------|---------------------------------|------------|---------------------------------------------------------|
| 令和5年 8月22日 | (株) セレコーポレーション 千葉工場 (千葉市若葉区) | 同社 千葉工場 | 受注企業7社 (7社) 成立件数0件 |
| 令和6年 1月23日 | (株) 吉野機械製作所 (千葉市緑区) | 同社 本社工場 | 受注企業10社 (13社) 商談結果は、半年後を目途に フォローアップ 調査を実施予定 |

※ () 内申込企業数

(イ) 工場見学会

DX先進事例工場見学会

経済産業省が実施している「DX Selection2022」で準グランプリ受賞企業の工場見学会を実施した。

期 日：令和5年11月8日（水）

場 所：(株) 日東電機製作所（群馬県太田市）

※ JR千葉駅前から貸切バスにて移動（日帰り）

参加者：30名（参加費無料）

(ウ) 展示商談企業交流会

ものづくり製造業 展示・商談・交流会2024

県内中小企業（受注企業）の加工製品や技術力を展示し、新規取引先を開拓するため、発注企業との企業交流会を実施した。

期 日：令和6年2月22日（木）

場 所：ホテルスプリングス幕張 ゲストハウス「パラッツィーナ」

(千葉市美浜区)

内 容：第 1 部 講演会「ITを活用した工場管理のステージアップ」
 ～あなたの会社はどのステージ？～

講師：創成マネジメント（株）

代表取締役 安藤 充 氏（中小企業診断士）

第 2 部 発注企業のプレゼンテーション

（企業概要、発注案件の説明）

受注企業のプレゼンテーション

（企業概要、自社製品、加工技術力の説明）

第 3 部 名刺交換・交流会

参加者：発注企業 10 社 15 名 受注企業 19 社 30 名（参加費無料）

エ 広域商談会開催事業

他県の各中小企業支援センター等と連携して、県域を越えた広域合同商談会を開催した。

（ア）関東 5 県ビジネスマッチング商談会 2023 ※幹事：栃木県

| 開催年月日 | 会場 | 主催 | 参加者 | 実績 |
|----------------|------------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 令和 5 年 9月6日 | 東京都立産業 貿易センター 浜松町館 4 F 展示室 (東京都港区) | 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 | 発注企業 90社(7社) 受注企業 232社 (36社) | 商談件数 1,054件 (151件) 成立件数 32件(2件) 成立金額 34,787千円 (5,000千円) |

※（ ）内千葉県

（イ）九都県市合同商談会 in パシフィコ横浜 2024 ※幹事：神奈川県

| 開催年月日 | 会場 | 主催 | 参加者 | 実績 |
|----------------|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 令和 6 年 2月7日 | パシフィコ横 浜 2 F アネッ クスホール (横浜市西区) | 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 千葉県 さいたま市 相模原市 | 発注企業 113社 (10社) 受注企業 227社 (42社) | 商談件数 851件(167件) 商談結果は、半年後 を目途にフォロー アップ調査を実施予 定 |

※（ ）内千葉県

オ 下請かけこみ寺事業

(公財)全国中小企業振興機関協会(下請かけこみ寺本部)と連携を図りながら、県内中小企業の下請取引に関するトラブル相談等に対応し、相談内容に応じ、弁護士無料相談へ取り次いだ。

(ア) 各種相談の対応 相談件数 699件

(イ) うち弁護士無料相談 相談件数 2件

(3) 設備貸与・設備資金貸付・被災貸付事業

新規貸付を終了している設備貸与事業、設備資金貸付事業及び被災中小企業施設・設備整備支援事業の貸付先企業からの回収と不良債権の回収・整理に係る管理業務を実施した。

ア 被災中小企業施設・設備整備支援貸付企業決算書等確認検査の実施

貸付先企業4社に対し、貸付対象設備等の確認及び決算書の徴収を実施し、経営状況の把握に努めた。

イ 債権管理業務の実施

未収先企業に対して、分割返済額の増額要請を行うとともに、借受人及び連帯保証人の資産、所得状況の調査を実施し、未収金の返済要請等を行い、未収金の回収に積極的に取り組んだ。

本年度は、設備貸与事業及び被災中小企業施設・設備整備支援事業併せて3件、1,438,000円を回収した。

・未収貸与料等回収状況

| 事業名 | 令和4年度末残高 | | 発生額 | | 回収額 | | 令和5年度末残高 | |
|-------------------|----------|------------|-----|---|-----|-----------|----------|------------|
| | 件 | 円 | 件 | 円 | 件 | 円 | 件 | 円 |
| 設備貸与事業 | 1 | 5,118,473 | 0 | 0 | 1 | 10,000 | 1 | 5,108,473 |
| 被災中小企業施設・設備整備支援事業 | 2 | 16,760,066 | 0 | 0 | 2 | 1,428,000 | 2 | 15,332,066 |
| 計 | 3 | 21,878,539 | 0 | 0 | 3 | 1,438,000 | 3 | 20,440,539 |

(4) ちばチャレンジ企業助成事業（中小企業総合支援事業）

県内中小企業等の創業、成長のための研究開発・販路拡大、次世代に引き継ぐ事業承継等、企業ライフサイクルに応じた助成を中小企業者等に行い、県内経済の活性化を支援するため、以下の事業を実施した。

助成案件の概要はP 55～P 60のとおりである。

ア 創業応援助成金事業

千葉県内の創業5年未満の中小企業者が持つ先進的なアイデア、研究開発及びビジネス創造に対し助成を実施した。

助成件数 4件 交付額 1,768,000円

イ 高度・成長研究開発助成事業

成長分野に係る研究開発及び公的研究機関・大学と共同で行う高度研究開発に取り組む中小企業者等に対し助成を実施した。

助成件数 6件 交付額 23,913,000円

ウ 市場開拓助成事業

新製品・新技術・特産品等の販路開拓を図るための展示会等への出展に対し助成を実施した。

助成件数 10件 交付額 6,868,000円

エ 地域資源活用開発助成事業

農林漁業者と連携体を組み、又は千葉県の指定する地域産業資源を活用した新商品・新サービス等の開発の取り組みに対し助成を実施した。

助成件数 3件 交付額 2,196,000円

オ 事業承継支援助成金事業

事業承継に向けた取組みを実施する事業者に対し、事業承継計画の策定、企業価値の算定、及びM&Aの仲介に要する委託料への助成を実施した。

助成件数 17件 交付額 6,593,000円

(5) ちば中小企業元気づくり基金事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構、千葉県及び地元金融機関からの貸付金を原資として創設した「ちば中小企業元気づくり基金」の運用益を活用し、新商品・新技術開発等に向けて積極的に取り組んでいる県内中小企業等に助成を行うため、新商品・新技術開発助成事業を実施した。

助成案件の概要はP61、62のとおりである。

助成件数 13件 交付額 19,148,000円

(6) ちば農商工連携事業支援基金事業

独立行政法人中小企業基盤整備機構及び千葉県からの貸付金を原資として創設した「ちば農商工連携事業支援基金」の運用益を活用し、商工業者と農林漁業者の連携体が行う県産農林水産物を使用した新商品開発等に対する助成を行うため、農商工連携による新商品開発等助成事業を実施した。

助成案件の概要はP62のとおりである。

助成件数 2件 交付額 1,674,000円

(7) 地域課題解決型起業支援事業

県内の条件不利地域において、県が地域再生計画に定める社会的事業の分野で、地域課題の解決を目的として新たに起業する者に対して補助を行い、地域の活性化を図るため、以下の事業を実施した。

助成案件の概要はP62のとおりである。

助成件数 1件 交付額 2,000,000円

4. 若年者の就業、人材育成等支援事業（公益目的事業）

（1）若年者就業支援センター事業

（ジョブカフェちば事業、ジョブカフェ支援体制円滑化事業）

県が船橋市に設置したジョブカフェちば（ちば若者キャリアセンター）を拠点とし、若年者向け就業支援をワンストップで提供し、若者と企業とのマッチングを図るジョブカフェちばの円滑な管理・運営を実施した。

- ・総利用者数 13,546名
- ・新規登録者数 2,364名
- ・就職を含む進路決定者数 1,543名
（うち就職決定者数 1,436名）

ア 若年者相談・セミナー事業

キャリアカウンセラー等を配置して、若年求職者及び学生等を対象とした個別対応や各種セミナー等を実施した。

| 事業の概要 | 実施状況 |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○個別相談、模擬面接等の個別対応 | <p>【個別相談】 6,345名 うち、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別予約相談（40分） 2,978名 ・WEB相談（40分） 794名 ・予約不要個別相談（20分） 2,313名 ・電話予約相談 47名 ・職業興味検査解説相談 213名 <p>※個別予約相談（40分）は、若年者地域連携事業分（東京リーガルマインド実施）を含む</p> |
| ○就職スキルを高めるための各種セミナーの実施（対面型・オンライン型） | <p>【セミナー（対面型）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 109回 ・参加者数 615名 <p>【セミナー（オンライン型）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 5回 ・参加者数 21名 |

| 事業の概要 | 実施状況 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○学生対象講座（対面型・オンライン型）</p> <p>○若年者による集団的就職活動の支援（連続セミナー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公務員対策 3日間集中！面接力向上講座 ・ 社会人基礎力を体験できる 3日間 <p>○労働法等の基本を学ぶワークルールセミナーの実施</p> <p>○自宅から気軽に就職活動に関する情報を収集できるようにするため、配信セミナーを実施</p> <p>○県内の大学・高校等の教育機関や経済団体等からの要請に応じて、キャリアカウンセラー等を派遣し、各種セミナーや個別相談等を実施</p> | <p>【夏期就活講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 3回 ・ 参加者数 17名 <p>【就活対策セミナー（対面型）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 13回 ・ 参加者数 52名 <p>【就活対策セミナー（オンライン型）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 3回 ・ 参加者数 11名 <p>【公務員対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 1回 ・ 参加者数 延べ23名 <p>【社会人基礎力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 2回 ・ 参加者数 延べ53名 <p>【応募前に知っておきたいワークルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 12回 ・ 参加者数 67名 <p>【入社前に知っておきたいワークルール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 11回 ・ 参加者数 53名 <p>【入社に向けての心がまえ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 1回 ・ 参加者数 7名 <p>【ジョブカフェちば就活ナビ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ナビの種類 5種類 ・ 申込件数・再生回数 487回 <p>【大学への派遣】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 22回 ・ 参加者数 639名 <p>うち、</p> <p>対面型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催数 20回 ・ 参加者数 605名 <p>オンライン型</p> |

| 事業の概要 | 実施状況 |
|---------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○進路指導やキャリア教育を支援するため、キャリアカウンセラーを派遣し、教員等に対して「キャリア教育の推進」等の講話を実施</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 34名 【高校への派遣】 ・開催数 35回 ・参加者数 1,428名 【高等技術専門校・農業大学校等への派遣】 ・開催数 10回 ・参加者数 392名 【市町村への派遣】 ・開催数 4回 ・参加者数 35名 【経済団体等への派遣（個別相談）】 ・開催数 5回 ・参加者数 19名 【進路指導者向けセミナー】 ・開催数 1回 ・参加者数 112名 |

イ 求職者と企業の交流支援事業

若年求職者と企業の相互理解を深め、求職者の就職及び県内企業の人材確保、若年者の職場定着につなげる支援として、交流イベント等の実施及び千葉県と県外大学との就職支援協定に係る取組を実施した。

| 事業の概要 | 実施状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>若年求職者と企業が対話し相互理解を深めるための交流イベントの実施</p> <p>(1) 1社型企业説明会</p> <p>(2) 合同企業説明会</p> <p>○船橋市以外の県内地域で実施する、地域の企業と地域の若者の交流を図る合同企業説明会の実施（成田市、市川市の2か所で開催）</p> | <p>【企業がやってくるDAY!】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 12回 ・参加者数 98名 ・参加企業数 12社 <p>【新卒向け合同企業説明会】 千葉県合同企業説明会（対面型）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・延参加者数 88名 ・参加企業数 16社 <p>開催と同時に就活相談を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 5名 <p>開催と同時に「就活お役立ちセミナー」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者 13名 <p>【中途向け合同企業説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・延参加者数 62名 ・参加企業数 16社 <p>開催と同時に就活相談を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数等 1回 3名 <p>開催前日に企業研究ワークを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数等 1回 19名 <p>【地域版合同企業説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 64名 ・参加企業数 15社 <p>開催と同時に就活相談を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数 1回 3名 |

| 事業の概要 | 実施状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○関係機関連携 他の就職支援機関（ジョブサポートセンター、若年者地域連携事業）との合同開催による合同企業説明会の実施</p> <p>（３）職場見学会 業界や仕事、就業現場への理解が浅い若者等を対象とした、業界や仕事への興味の醸成を図る職場見学会の実施</p> <p>（４）企業研究 様々な業種・職種等があり仕事内容や求められることも異なるため、業界理解を促すためのセミナーの実施</p> <p>（５）教育機関との連携 教育機関等の交流イベントの開催及びU I Jターンに関する出張相談の実施</p> <p>（６）インターンシップの推進</p> | <p>【関係機関連携合同企業説明会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 82名 ・参加企業数 20社 <p>【職場見学会 企業へ行くDAY!】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 8名 ・参加企業数 1社 <p>【業界理解セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 6名 <p>【工業高校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者 379名 ・参加企業数 26社 <p>【高等技術専門校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者 23名 ・参加企業数 6社 <p>【県外大学就職支援担当者と県内企業の合同面談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加大学 13大学 ・参加企業数 24社 <p>【U・I・Jターン相談会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 9回 ・参加人数 31名 <p>【インターシップ&仕事体験説明会（オンライン）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・延参加者数 36名 ・参加企業数 10社 |

ウ 中小企業人材確保・職場定着支援事業

県内中小企業における人材確保・職場定着を支援するため、企業開拓、求人情報の提供、企業の採用・定着を目的としたセミナーや相談会等を実施した。

| 事業の概要 | 実施状況 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 企業開拓 求人企業を開拓し、求人情報のジョブカフェ利用者への提供</p> <p>(2) 個別相談 人材確保・職場定着等についての課題を抱える企業（在職者含む）に対し相談、助言、各種情報を提供</p> <p>(3) 企業向けセミナー・相談会 企業の人材確保・職場定着を目的としたテーマのセミナーを実施 ○人材確保支援 管理職・人事担当者を対象にセミナーを実施</p> | <p>【求人開拓（企業訪問）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問企業数 延べ997社 ・求人検索サイト検索数 108,756回 <p>【来所対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来所企業数 152社 <p>【在職者夜間相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施数 8回 ・利用者数 12名 <p>【ワークエンゲージメントセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 13名 ・参加企業数 10社 <p>【ポジティブメンタルヘルスセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 13名 ・参加企業数 9社 <p>【面接強化セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 19名 ・参加企業数 16社 <p>【インターンシップ実践セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 37名 ・参加企業数 30社 |

| 事業の概要 | 実施状況 |
|-----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○職場定着支援 新入社員・若手社員を対象にセミナーを実施</p> | <p>【採用広報力強化セミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 84名 ・参加企業数 75社 <p>【外国人材採用に関するセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 6名 ・参加企業数 6社 <p>【外国人材採用に関する個別相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 1回 ・参加者数 2名 ・参加企業数 2社 <p>【新入社員フォローアップセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 52名 ・参加企業数 27社 <p>【若手社員モチベーションアップセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 37名 ・参加企業数 21社 <p>【先輩社員ブラッシュアップセミナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催数 2回 ・参加者数 28名 ・参加企業数 19社 |

エ 広報・その他

上記アからウに関する業務の周知・広報を行うため、広報媒体の活用、リーフレットの作成配布、ホームページやSNSの利用などを通じた効果的な広報を実施した。

| 事業の概要 | 実施状況 |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>○ホームページ・メールマガジン等による情報発信 企業向けにジョブカフェちばの存在・役割、</p> | <p>【企業向けホームページアクセス数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業向け 19,713件 ・若者向け 361,857件 |

| 事業の概要 | 実施状況 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>サービスを案内するとともに、若年者に対してもホームページで中小企業の紹介ページ等により中小企業の情報を提供</p> <p>○総合的な案内リーフレット等により、若年者雇用を取り巻く関係者への広報を効果的に実施</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・その他 844件 【メールマガジン配信回数】 ・企業向け 40回 (延べ218, 261通) ・若者向け 24回 (延べ110, 364通) 【X (旧ツイッター)】 ・若者向け 504配信 【電話による利用促進】 5,906件 【リーフレット・セミナーカレンダーの定期便発送】 ・発送箇所 242施設 【求職者向けリーフレット作成】 ・作成数 35,000枚 |

5. 施設管理・研修・投資等事業（収益事業）

（1）東葛テクノプラザ管理運営事業

ア 研究開発事業

（ア）貸研究室

令和6年3月31日現在で51室のうち43室を32社に貸し出している。

| 号室 | 企業名 | 事業内容 |
|-----|------------------|---------------------------------------------|
| 301 | (株) アルガルバイオ | クロレラによる複数色のカルテノイドと長鎖不飽和脂肪酸の大量生産 |
| 302 | (株) アルガルバイオ | |
| 303 | エムディジャパン (株) | 化学成分及び天然成分含有パップ剤（医薬品）の研究と製剤化 |
| 304 | 東京大学機能性バイオプロジェクト | 低CO ₂ と低環境負荷を実現する微細藻バイオファイナリーの創出 |
| 305 | (株) ドクターズチョイス | 化粧品・健康食品の原料の製造方法の改良研究及び新規製造方法確立のための研究開発 |
| 306 | (株) Neulab | 人工知能による包括的コンサルティング業・周辺機器の開発・製造・販売 |
| 307 | (株) トライアングルプロダクツ | ゲル線量計の製造及び販売、郵送測定事業 |
| 308 | アビリティゲート (株) | プラスチックのリサイクル工程で発生する産業廃棄物を使った商品開発及び用途開発 |
| 309 | メディアスケッチ (株) | 災害検知のための長距離無線通信実験 |
| 310 | 朝日サージカルロボティクス | 新しい手術支援ロボットの事業化に向けた研究・開発 |
| 401 | エムディジャパン (株) | 化学成分及び天然成分含有パップ剤（医薬品）の研究と製剤化 |
| 402 | (株) エコデシック | 革新的植物栽培技術と新たなサプライチェーンの開発 |
| 403 | アイエスジー (株) | ・既存業務用液冷式急速冷凍機の効率化 ・小型機の開発 |
| 404 | 【空室】 | |
| 405 | (株) テクノプロ | ・電子材料・医薬中間体等の受託有機合成 ・生化学・分子生物学的受託実験 |

| 号室 | 企業名 | 事業内容 |
|------|-----------------------------------|--------------------------------------------|
| 406 | ブレイニー（株） | 自社技術特許ナノ粒子ハイドロキシアパタイトの製造及び商品開発 |
| 407 | オーテックス（株） | エポキシ樹脂・アクリル樹脂を用いたナノインプリント・精密接着などの光硬化樹脂材料研究 |
| 408 | 【空室】 | |
| 409 | Rtec- I n s t r u m e n t s（株） | 分析装置の国内輸入販売、アプリケーション開発、受託試験、技術コンサルティング |
| 410 | （株）エーディエス | 再生可能エネルギー効率と植物工場の栽培効率の極大化 |
| 411 | 柏の葉ゲノムクリニック | 個人ゲノム解析に基づく疾患リスク判定 |
| 412 | （株）東京ウエルズ | 電子部品・半導体製造装置の開発及び評価 |
| 501 | （株）F u t u r e d M e | タンパク質分解創薬プラットフォームを用いた既存の技術では創薬困難な医薬品開発 |
| 502 | 先端機能性材料開発（株） | 表示デバイス周辺に使用する機能性接着剤、封止材、粘着剤の委託開発、その中間体の開発 |
| 503 | 朝日サージカルロボティクス（株） | 新しい手術支援ロボットの事業化に向けた研究・開発 |
| 504 | 朝日サージカルロボティクス（株） | |
| 505 | （株）P a l e B l u e | 水を推進剤とした超小型衛星エンジンの研究開発と製造販売 |
| 506 | （株）P a l e B l u e | |
| 5071 | （株）あおごち | 通信・電子システム機器の研究・開発、レーザー加工品の研究・開発 |
| 5072 | （株）あおごち | |
| 5073 | （株）東北技術 | 電子産業用精密機械・装置・部材の販売及びメンテナンス |
| 5074 | （株）ウェザーライト | SNSとチャットAIを用いた個人事業向けの業務システムの開発 |
| 5075 | 【空室】 | |
| 508 | （株）ポリスフェア | 体外診断薬とその原料の研究開発及び製品製造 |
| 509 | 五常産業（株） | 光学部品用樹脂材料及び機能性フィルムコート用材料の研究開発 |
| 510 | （株）ポリスフェア | 体外診断薬とその原料の研究開発及び製品製造 |
| 511 | （株）光機械製作所 | 超短パルスレーザーを用いた微細加工、切削工具開発 |
| 512 | 【空室】 | |

※ 601～613の13室については、(イ)を参照

(イ) インキュベーター事業

a 企業育成室の提供

高度な技術を有する立ち上がり期（創業5年以内）の企業に対し、低廉な使用料で企業育成室を貸し出した。

令和6年3月31日現在7社が9室に入居している。

| 号室 | 企業名 | 事業内容 |
|-----|---------------------|-------------------------------------------|
| 601 | 【空室】 | |
| 602 | (株) P a l e B l u e | 水を推進剤とした超小型衛星エンジンの研究開発と製造販売 |
| 603 | (株) P a l e B l u e | |
| 604 | 【空室】 | |
| 605 | (株) J m e e s | 手術の解剖構造可視化AIシステムの研究開発・製造・販売 |
| 606 | 【空室】 | |
| 607 | 【空室】 | |
| 608 | 先端機能性材料開発 (株) | 表示デバイス周辺に使用する機能性接着剤、封止材、粘着剤の委託開発、その中間体の開発 |
| 609 | マジェリカジャパン (株) | パルスNMRによる高濃度微粒子分散体の品質管理インラインセンサーの実用化 |
| 610 | (株) P a l e B l u e | 水を推進剤とした超小型衛星のエンジン研究開発と製造販売 |
| 611 | リーグソリューションズ (株) | 高精度マーカを利用した応用製品の研究・開発 |
| 612 | (株) GRIPS | 協働ロボットを中心としたシステム提案とインテグレーションおよびSTEM教材開発 |
| 613 | タイプライターTX (合同) | 遺伝子治療の創薬研究に関する情報解析およびデータ解析 |

b 入居企業活動状況ヒアリング

令和6年1月から約1カ月かけて入居企業30社に対して、経営状況・問題点・要望・連携状況及び東葛テクノプラザでの研究開発の内容についてのヒアリングを実施した。

c 創業前支援事業

優れたビジネスプランを保有し、新たなビジネスを創業しようとする者又は創業している者を支援するため、東葛テクノプラザ内に起業支援ルームを設け支援を行っている。企業支援ルームは1年間無料提供。

| 室 | 利用者名 | 事業内容 |
|------------|-------|----------------|
| 起業支援室 A | 横江 誼衡 | 農業用自動走行作業装置の開発 |
| 起業支援室 B | 【空室】 | |

※横江 誼衡の利用期間 令和5年7月13日～令和6年7月12日

(ウ) 会議室等の貸出

東葛テクノプラザの会議室等を貸し出した。

- ・延べ 443件

(エ) 試験分析機器の貸出

東葛テクノプラザに設置されている試験分析機器を貸し出した。

- ・延べ 918件

(オ) 試験検査の実施

各種依頼試験を実施した。

- ・延べ 126点

イ 教育研修事業

例年次代を担う子供達を対象に、科学的視野の養成とモノ作りの大切さを教えることを目的として夏休み科学教室を開催している。

| 開催年月日 | 内容 | 参加者数 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
| 令和5年 8月 3日 | 「宇宙のビッグバンからの偏光、身の回りの偏光」 ①偏光メガネを作ろう！ ②偏光ってなんだろう？ 東京大学国際高等研究所 カブリ IPMU 准教授 松村 知岳氏 ③カブリ数物連携宇宙研究機構見学 学術支援専門員 角林 元子氏 | 児童 24名 (親子 21組) |

ウ 業務支援事業（無料相談室）

県内中小企業が抱える技術・経営等に関する問題解決を支援するため「無料相談室」を設置し、専門家によるアドバイスをを行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制で実施した。

| 区分 | 開催日 | 相談員 | 実施回数 | 相談件数 |
|----------|-------|---------------------------|------|------|
| 知財・発明相談室 | 第4火曜日 | 日本弁理士会関東会 所属の弁理士 | 12回 | 7件 |
| 技術相談室 | 毎週金曜日 | (公社)日本技術士会千葉県 支部所属の技術士 | 50回 | 4件 |

エ インキュベーションマネージャー事業

IM（2名）による、入居・卒業企業の経営・技術・連携等の支援活動を行った。

| 項目 | 内容 |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 入居企業ヒアリングの実施 | 県産業振興課と連携し、入居企業の研究状況、事業状況を把握し、経営課題に対し支援を実施した。 《実施時期》令和6年1月11日～2月20日 |
| スタートアップ企業の成長促進 | 千葉県の実施する「令和5年度革新的ベンチャー企業成長促進プログラム事業」に採択された企業2社に対し、メンターと共に助言を行った。 採択企業：(株)Jmees、リーグソリューションズ(株) |
| 補助金申請支援 | 令和5年度は、以下の入居企業が交付を受けた。 <ul style="list-style-type: none"> ・リーグソリューションズ（株） ひまわりベンチャー育成基金 助成金 ・(株)アルガルバイオ 経済産業省 成長型中小企業等研究開発支援事業 東京ベイ eSGプロジェクト先行プロジェクト ・(株) Neulab ちば地域課題解決実証プロジェクト補助金 ・(株)トライアングルプロダクツ 小規模事業者持続化補助金 ・オーテックス(株) 中小企業総合支援事業助成金（市場開拓助成） ・(株)エーディエス 千葉県産学連携促進事業 ・(株)FuturedMe NEDO ディープテックスタートアップ基金 ・(株)ウェザーライト 第9回事業再構築補助金 ・(株)Jmees AMED 医工連携イノベーション推進事業、 AMED 革新的がん医療実用化研究事業 ・マジェリカ・ジャパン（株） R5 千葉県高度・成長研究開発助成金 |

| | |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 入居企業の交流・連携促進 | <p>○第3回入居企業交流会（5月18日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居企業の研究内容発表 （株）ドクターズチョイス、Rtec Instruments（株） 日本政策金融公庫、千葉県企業立地課、関東財務局の発表 名刺交換・交流 計70名参加 <p>○第4回入居企業交流会（9月27日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居企業の研究内容発表 （株）ジェンブル、（株）GRIPS、タイプライターTX（合同） 関東経済産業局、産総研、産技研他の発表 名刺交換・交流 計72名参加 <p>○入居企業ミニ交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> 3月5日 補助金申請書の作成 3社参加 3月15日 産業振興センターの補助金、施策説明 3社参加 |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

オ 交流事業

（ア）東葛テクノ会の運営

東葛テクノプラザのサポート団体として、東葛テクノ会が組織されている。会員数としては、企業63、大学9、産業支援機関21（令和5年度末現在）から組織されており、会員相互の交流事業、情報提供事業等を中心に様々な活動を行っている。

・主な活動内容

| 事業名 | 開催年月日 | 会場 | 内容 | 参加者 |
|----------------|------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 東葛テクノ会第24回通常総会 | 令和5年 6月8日 | 東葛テクノプラザ | 第1号議案 4年度事業報告 第2号議案 4年度決算報告 第3号議案 5年度事業計画 第4号議案 5年度予算 第5号議案 役員の改選 総会后、産業技術総合研究所の持丸 正明氏による特別講演及び入居企業によるプレゼンテーションを実施した。 | 98団体中 出席19 団体 委任状62 団体 過半数の 賛成により 可決 |
| 柏市工業祭 | 令和5年7 月29,30日 | 柏駅東口 | 柏市内の企業が製造しているジェラート販売 3Dプリンターで作成した模型の頒布 | |
| 夏休み科学教室 | 令和5年 8月3日 | 東葛テクノプラザ | 偏光メガネを制作しながら、宇宙の始まりについて学んだほか、カブリ IPMUを見学した。 | 小学5, 6年生 24名 |
| 技術経営実践講座 | 令和5年11月 7日 | 東葛テクノプラザ | ポリテクセンター千葉と共催でセミナーを実施 | 5名 |

| | | | | |
|-----------------------|---------------|--------------|----------------------------------------------|-----|
| | 令和6年 1月～3月 | | ポリテクセンター君津と共催 でセミナーを3回実施した。 | 23名 |
| 地域交流 フォーラム 2024 | 令和6年 2月22日 | 東葛テクノ プラザ | 「工作機械～その可能性と将来 展望を探る」をテーマとし 講演会等を実施した。 | 41名 |

(イ) 大学等研究交流サロン

企業が新製品・新技術の開発を促進するために必要な情報について大学等の研究者から講演・アドバイスを受ける機会を定期的に設けるため、シーズ発表会を開催した。

| 開催年月日 | 会場 | テーマ | 講師 | 参加者 |
|----------------|--------------------------|----------------------------|---------------------------------------------------|-----|
| 令和5年 12月19日 | 東京大学 物 性研究所 | 強磁場を使った物性研究 に必要なモノとは？ | 東京大学 物性研 究所 国際超強磁 場科学研究施設長 教授 金道 浩一 氏 | 14名 |
| 令和6年 1月25日 | 東京電機大 学 東京千住 キャンパス | 自動車の電動化に向けた 研究開発 | 東京電機大学 工 学部 先端機械工 学科 教授 清水 康夫氏 | 17名 |
| 令和6年 3月7日 | 東葛テクノ プラザ 第4会議室 | 生物に学ぶ飛行ロボット の推進とナビゲーション | 千葉大学大学院 工学研究院 准教授 中田 敏是 氏 | 16名 |

(ウ) 東葛テクノプラザ地域交流フォーラム2024

産学官連携のもと産業技術の振興、新産業の創出発展に向けて、入居企業や周辺中小企業及び県内大学・研究機関の交流を図ることを目的に開催した。

- ・ 開催日時：令和6年2月22日（木）13：00～17：00
- ・ 開催場所：東葛テクノプラザ1階多目的ホール
- ・ 参加者：41名
- ・ テーマ：「工作機械」～その可能性と将来展望を探る～

①「工作機械業界動向について」

講師：一般社団法人日本工作機械工業会

調査企画部長 田中 一彦氏

②「社会課題に対するオークマの取り組みについて」

講師：オークマ株式会社 執行役員技術本部副本部長 栗山和俊氏

③「知財セミナー スタートアップにおける知財の役割」

講師：特許庁 スタートアップ支援班長 関口 英樹氏

④「令和6年度施策説明」

講師：経済産業省関東経済産業局地域振興課 係長 仲澤 明洋氏

講師：千葉県商工労働部産業振興課 副主査 関川 智也氏

カ 広報事業

(ア) 東葛テクノプラザの視察状況

18件 71名

| 種別 | 実施件数 | 視察者 |
|---------------|------|-----|
| 県関係機関 | 2件 | 6名 |
| 学校（大、高、中、小、他） | 2件 | 8名 |
| 企業・団体 | 14件 | 57名 |
| 合計 | 18件 | 71名 |

(イ) 情報提供

各種イベント、セミナー等の情報提供、助成金等の公募情報を中心に毎月メールマガジンを発信している。

メールマガジン 44回

キ 技術セミナー事業

(ア) EMC技術セミナー

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 出席者 |
|----------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 令和5年 12月15日 | 東葛テクノ プラザ 第2研修室 | 「LCフィルターを使用したノイズ対策」と題して、効果的なLCフィルターの設計ができるよう、LCフィルターの基本的な構成、効果、原理について説明、デモ機による実演を実施。 | 13名 |
| 令和6年 1月19日 | 東葛テクノ プラザ 電波暗室 | 試験対象の機器を持参して頂き、座学および測定種別毎に測定方法、機器のセッティング方法、注意すべきポイント等を説明。 | 5名 |
| 令和6年 2月29日 | 東葛テクノ プラザ 第2研修室 | 「VCCIセミナー」と題して、VCCI活動紹介と今後の規制動向、VCCI協会技術基準の規格概要、技術基準に基づいた測定をするための注意点等について説明。 *VCCI: 情報処理装置等電波障害自主規制協議会 | 31名 |

(イ) 技術講習会

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 出席者 |
|---------------------------------------------|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 令和5年 10月12日～ 令和6年 3月1日 (計6日/8回) | 東葛テクノ プラザ 試 験・分析室 | SEM/EDS (走査型電子顕微鏡/エネルギー分散型X線分析装置)の利用促進のため、「月例 SEM/EDS デモンストレーションデー」と題して、お客様持参のサンプルを用いて、月1回最大2組のデモンストレーションを実施。 | 9名 (延べ) |

(2) 基盤強化事業

ア 能力開発研修事業

職員の能力アップを図り、組織の専門集団化を目指すため、下記の社内研修を開催するとともに、社外研修にも積極的に参加した。

(ア) 社内研修

| 研修名 | 開催年月日 | 参加者 |
|-----------------|------------------------------------------------------|--------|
| 新任職員研修 | 令和5年 4月 3日 4月 7日 10月 2日 | 26名 |
| 事務スキル・支援スキル向上研修 | 令和5年 7月 4日 7月24日 8月23日 10月26日 令和6年 2月27日 | 延べ11名 |
| 教育研修 | 令和5年 6月 9日 12月22日 | 延べ310名 |

(イ) 社外研修

| 研修名 | 開催年月日 | 参加者 |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------|------|
| 公社等新採職員研修 | 令和5年 4月12日～ 4月13日 | 1名 |
| 公社等基本研修Ⅲ | 令和5年 7月27日～ 7月28日 | 1名 |
| 千葉県職業能力開発協会主催研修 | 令和5年 8月22日 10月 5日 | 3名 |
| 中小企業支援担当者等研修 | 令和5年 6月13日 6月20日 7月27日 8月 3日 9月22日 9月29日 10月17日～ 10月19日 | 延べ4名 |
| コンプライアンス研修 | 令和5年 6月30日 | 3名 |
| 商工労働部部内研修 | 令和5年 7月14日 | 4名 |
| 千葉県パワーアップ研修 | 令和5年11月24日 令和6年 1月17日 | 2名 |

イ 技術経営実践講座事業

企業の持つ技術力を、新しい観点から新製品開発や生き残り策の手段として捉える方策を習得し、企業の成長戦略や利益拡大のために活躍できる人材育成を図ることを目的に実施した。

| 開催年月日 | 会場 | 内容 | 講師 | 受講者 |
|-------------------------------------------|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|--------------------|
| 令和5年 11月7日 | 東葛テクノ プラザ | ポリテクセンター千葉と 共催 「DX推進セミナー」 | 日本能率協会コンサル ティング 仲村 健太氏 | 6名 |
| 令和6年 ①1月29,30日 ②2月19,20日 ③3月4,5日 | 東葛テクノ プラザ | ポリテクセンター君津と 共催 ①「仕事と人を動かす現場 監督者の育成」 ②「現場の安全確保(5S) と生産性向上」 ③「技能伝承のための部 下・後輩指導育成」 | M x E コンサルティ ング 松嶋 清秀氏 | ①5名 ②10名 ③8名 |

(3) 千葉産業復興ファンド事業

千葉産業復興機構投資事業有限責任組合への出資を通じ、東日本大震災の直接、間接的な被害等により、既存債務の負担に苦しむ中小企業等の債権買取を行うことで、早期再生に資するファンド事業を実施した。

- ・ 出資約束金額 3,800万円(76口)
- ・ ファンド総額 20億1,000万円
- ・ 組合存続期間 平成24年3月28日から
令和7年3月27日まで(1年間の延長)
(3年以内の延長が可能)
- ・ 組合業務執行 株式会社千葉リバイタル(無限責任組合員)
- ・ 投資状況

(単位：千円)

| 期首投資残高 | 本年度投資額 | 本年度回収額 | 期末投資残高 |
|--------|--------|--------|--------|
| 16,101 | 41 | 2,293 | 13,849 |

注) 出資約束金額の原資は、県からの無利子借入金

※投資期間は、平成27年3月31日にて終了

〔Ⅱ〕附属明細書

(公財)千葉県産業振興センター理事・監事・評議員兼務状況一覧表

(理事)

令和6年3月31日現在

| | 氏名 | 現職名 | 兼務状況 |
|-----|-------|------------------------|------|
| 非常勤 | 佐久間英利 | (一社)千葉県商工会議所連合会会長 | なし |
| 非常勤 | 伊藤智義 | 千葉大学 大学院工学研究院長 工学部長 | なし |
| 非常勤 | 野村宗作 | 千葉県商工労働部長 | なし |
| 常勤 | 中村耕太郎 | (公財)千葉県産業振興センター理事長 | なし |
| 常勤 | 入江信明 | (公財)千葉県産業振興センター副理事長 | なし |
| 常勤 | 大竹悦司 | (公財)千葉県産業振興センター常務理事 | なし |
| 常勤 | 根本正志 | (公財)千葉県産業振興センター常務理事 | なし |
| 常勤 | 正木忍義 | (公財)千葉県産業振興センター理事 | なし |
| 常勤 | 鈴木善之 | (公財)千葉県産業振興センター理事 | なし |

(監事)

| | | | |
|-----|------|-------------------|----|
| 非常勤 | 今関光俊 | 千葉県中小企業団体中央会 専務理事 | なし |
| 非常勤 | 澤田勲 | 公認会計士澤田勲事務所 所長 | なし |

(評議員)

| | | | |
|-----|-------|---------------------------|----------------------------|
| 非常勤 | 浅見健一郎 | JFEスチール(株) 東日本製鉄所 副所長 | 公益社団法人千葉県労働基準協会連合会 会長(非常勤) |
| 非常勤 | 吉田稔 | (株)京葉銀行 執行役員法人営業部長 | なし |
| 非常勤 | 小宮一仁 | 千葉工業大学 学事顧問 | なし |
| 非常勤 | 有馬資明 | 双葉電子工業(株) 代表取締役社長 | なし |
| 非常勤 | 澤野利章 | 日本大学 生産工学部長 | なし |
| 非常勤 | 白井克己 | (株)千葉興業銀行 常務取締役 | なし |
| 非常勤 | 山口幸宏 | 千葉県商工会連合会 専務理事 | なし |
| 非常勤 | 飯塚真太郎 | 千葉県中小企業団体中央会 会長 | 職業訓練法人野田地域職業訓練協会 副会長(非常勤) |
| 非常勤 | 宮崎秀彦 | 古河電気工業(株) 千葉事業所長 | なし |
| 非常勤 | 福井順子 | 福井電化工業(株) 代表取締役会長 | なし |
| 非常勤 | 古田寿昭 | 東邦大学 理学部長 | なし |
| 非常勤 | 阿部真二 | 三井化学(株) 執行役員市原工場長 | なし |
| 非常勤 | 土橋晃久 | コスモ石油(株) 千葉製油所 総務担当副所長 | なし |
| 非常勤 | 三村昇 | キッコーマン(株) 常務執行役員 | なし |
| 非常勤 | 麻生博章 | (株)千葉銀行 常務執行役員 県内営業担当 | なし |
| 非常勤 | 山口新二 | 千葉県信用保証協会 会長 | なし |
| 非常勤 | 伊福晃二 | 日本電気(株) 千葉支社長 | なし |

〔Ⅲ〕関係資料

1. 庶務に関する状況 (1) 所属別・役職別状況

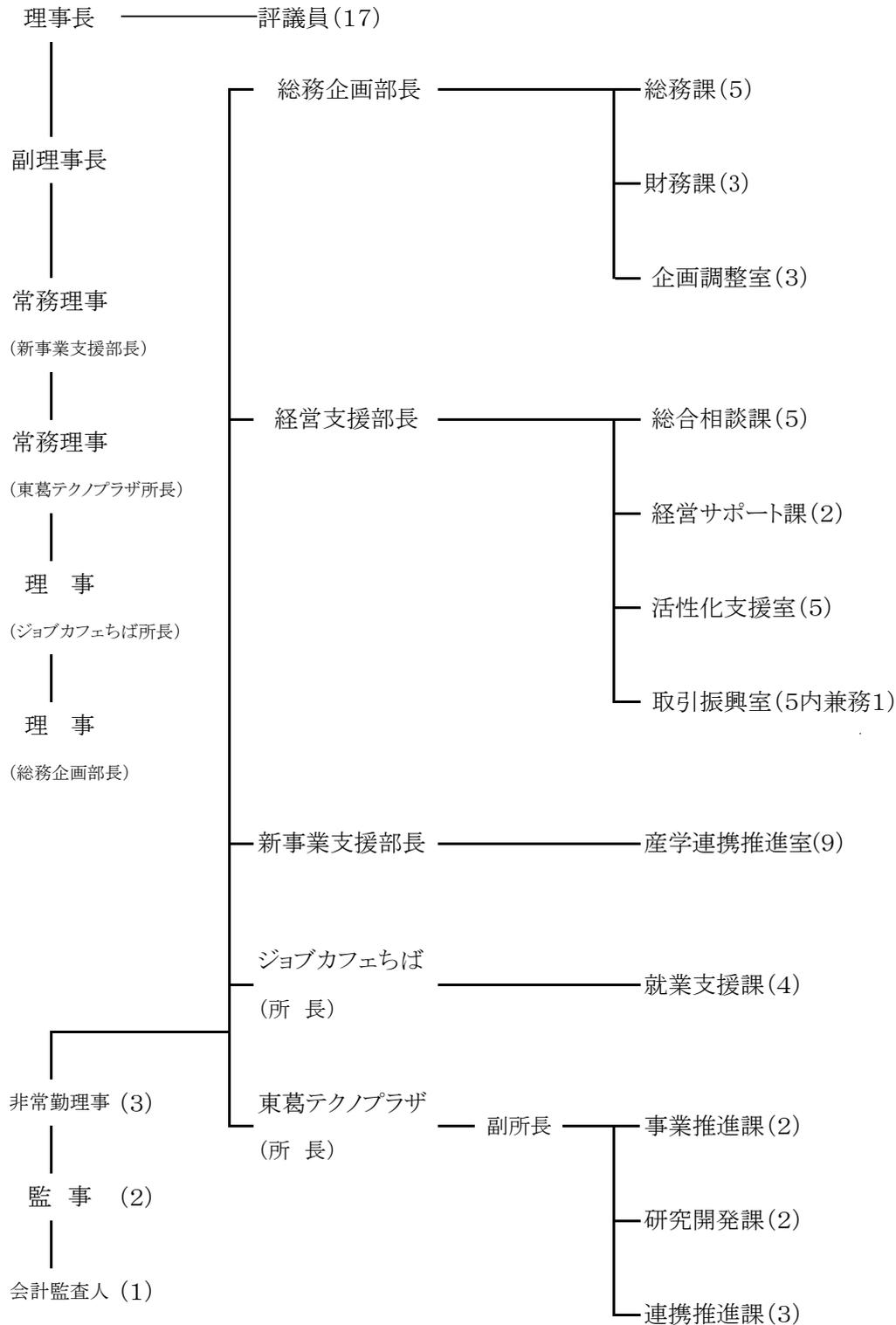
(令和6年3月31日現在)

| 所属 職員 | 常勤 役員 | 総務企画部 | | 経営支援部 | | | | 新事業支援部 産学連携推進 室 | シニアフェチば 就業支援 課 | 東葛テクノプラザ* | | | 計 | 備 考 |
|-----------|----------|-------|-----------|-----------|-------------|------------|-----------|-----------------------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----|-----------------------|
| | | 総務課 | 企画調整 室 | 総合相談 課 | 経営サポート 課 | 活性化支援 室 | 取引振興 室 | | | 事業推進 課 | 研究開発 課 | 連携推進 課 | | |
| 理事 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 副理事 | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | |
| 常務理事 | 2 | | | | | | | | | | | | 2 | 新事業支援部長 東葛テクノプラザ所長 |
| 理事 | 2 | | | | | | | | | | | | 2 | シニアフェチば所長 総務企画部長 |
| 部長・所長 | | (1) | | | 1 | | | | (1) | | (1) | | 1 | |
| 副所長 | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | |
| 参事 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 1 | 6 | |
| 副参事 | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | 5 | |
| マネージャー | | | | | | | | 1 | | | | | 1 | |
| 主幹 | | 1 | | | | | | 1 | | | | 1 | 3 | |
| 調査役 | | | | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | | | 3 | |
| 主査 | | 1 | 2 | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 | 1 | 1 | | 1 | 11 | |
| 副主査 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | 3 | |
| 主事 | | | | 2 | | | | 1 | | | | | 3 | |
| 期間付事務管理職員 | | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 1 | | | 11 | |
| 企業等出向 | | | | 1 | | 2 | | 2 | 1 | 1 | 2 | | 8 | |
| 小計 | 6 | 11 | | | 21 | | | 11 | 4 | | 9 | | 62 | |
| 嘱託員等 | | | | | | | | | | | | | 105 | |
| 合計 | | | | | | | | | | | | | 167 | |

総務部嘱託職員1、債権管理アドバイザー2、専門指導員4
 研究開発コーディネーター3、施設支援事業嘱託員1、国補助事業嘱託員4、業務推進マネージャー1、業務推進事務員2、
 ベンチャー支援コーディネーター1、知財戦略プロデューサー2、新事業支援部嘱託員1
 プロジェクトマネージャー17、アシスタントマネージャー3、よろず支援アシスタントコーディネーター3
 販路アドバイザー2、プロフェッショナル人材戦略拠点マネージャー3、緊急対策事業コーディネーター1、
 緊急対策事業アドバイザー14、緊急対策事業アシスタント1、事務補助嘱託員1
 業務推進員6、シニアフェチばコーディネーター13、円滑化コーディネーター3
 インキュベーションマネージャー3、東葛テクノプラザ嘱託職員3、主任研究員1、研究員3、メディカル・コンシエンジュ4、医療機器開発コーディネーター2

(2) 公益財団法人千葉県産業振興センター組織図

(令和6年3月31日現在)



2. 技術振興事業実施一覧

(1) 成長型中小企業研究開発支援事業

①新規 1件 (1年目)

| 事業名 | 事業期間 | 参加機関 | 事業内容 |
|------------------------------------------------|--------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| カイコスクリーニング技術を用いた自然免疫のコントロールを補助する新たな健康食品素材の研究開発 | 令和5年10月30日～ 令和6年3月31日 | (株) ゲノム創薬研究所 学校法人帝京大学 農業・食品産業技術総合研究機構 | 1 カイコを用いた敗血症モデルのメカニズム解明と評価方法確立の課題への対応 2 カイコの敗血症モデルによる機能性素材探索の課題への対応 3 有効性を示す素材の精製、構造解析、機序解析、有効性の検証の課題への対応 4 過剰免疫抑制効果成分を豊富に含む食品及び機能性素材の試作の課題への対応 |

②継続 1件 (2年目)

| 事業名 | 事業期間 | 参加機関 | 事業内容 |
|----------------------------------------------------|------------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自動車の軽量化・電装化に必要な樹脂へのめっきを実現する環境負荷の低い循環型電解硫酸生成システムの開発 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | D i a M (株) 学校法人千葉工業大学 千葉県産業支援技術研究所 | 1 電解硫酸を高効率に生成・供給可能な電解セルの開発 2 酸化剤濃度のインライン測定技術及び循環型電解制御方法の確立 3 酸化剤濃度が制御できる高効率循環型電解硫酸生成システムの構築と新事業展開 |

(2) 戦略的基盤技術高度化支援事業

①継続 2件 (3年目)

| 事業名 | 事業期間 | 参加機関 | 事業内容 |
|--------------------------------------------------------|------------------------|----------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 電池の開発・製造スピードを向上させる電極スラリー製造装置の研究開発 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | アシザワ・ファインテック (株) 千葉県産業支援技術研究所 | 1 少量から生産スケールまで対応でき最少工程で短時間処理が可能な小型高速回転分散機の開発への対応 2 電池材料を均一に分散できる技術の確立への対応 3 川下企業の開発・生産プロセスに対する新技術の適用への対応 |
| 世界初の自動培養と生体内環境を再現できる I o T ・ A I 技術を融合した安価なスマートシステムの開発 | 令和5年4月1日～ 令和6年3月31日 | ネッパジーン (株) 国立大学法人東京医科歯科大学 | 1 IoT・AI 技術を活用した自動培養機能と複数の物理的・化学的刺激機能の統合の課題への対応 2 コンタミネーションリスク軽減および分化細胞回収の課題への対応 3 細胞の分化スピード向上の課題への対応 |

3. 経営基盤強化支援事業の状況
(1) 令和5年度相談実績

| 相談形態/件数 | | 業種/支援目的 | 相談企業数 (実数) | 相談延件数 | 内 訳 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-------|---------|---------------|-------|------|---------|----|-----|-----|-----|----|---------|----|---------------------|--------------|------|------|-----|-----|-----|------|-------|
| 相談形態 | 件数 | | | | 経営全般 | マーケティング | 資金 | 法律 | 労務 | 税務 | 技術 | ビジネスプラン | IT | 取引適正化 苦情紛争 関係 | 取引適正化 その他 | 事業提携 | 会社設立 | 省エネ | ISO | 特 許 | 事業継承 | BCP |
| 製造業 | 123 | 539 | 123 | 59 | 28 | 42 | 4 | 89 | 114 | 79 | 0 | 4 | 3 | 2 | 2 | 30 | 2 | 192 | 13 | 67 | 68 | 1,460 |
| 卸売業 | 85 | 279 | 28 | 11 | 2 | 1 | 1 | 12 | 32 | 27 | 0 | 1 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 41 | 0 | 17 | 17 | 279 |
| 建設業 | 100 | 222 | 4 | 12 | 1 | 2 | 2 | 0 | 24 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 31 | 2 | 22 | 16 | 222 |
| 小売業 | 146 | 315 | 50 | 23 | 5 | 2 | 1 | 13 | 17 | 24 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 10 | 0 | 8 | 13 | 315 |
| サービス業 | 650 | 1,581 | 169 | 167 | 12 | 20 | 3 | 11 | 171 | 81 | 4 | 2 | 2 | 19 | 3 | 18 | 3 | 60 | 6 | 94 | 86 | 1,581 |
| その他 | 126 | 421 | 18 | 29 | 1 | 4 | 2 | 13 | 43 | 6 | 0 | 0 | 1 | 5 | 1 | 5 | 2 | 88 | 0 | 40 | 37 | 421 |
| 創業 | 203 | 428 | 22 | 80 | 4 | 4 | 3 | 0 | 61 | 4 | 0 | 0 | 2 | 24 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 35 | 12 | 428 |
| 支援目的の経営革新 | 651 | 1,620 | 270 | 88 | 12 | 37 | 1 | 75 | 188 | 129 | 0 | 3 | 4 | 3 | 4 | 24 | 1 | 46 | 11 | 109 | 50 | 1,620 |
| その他 | 1,118 | 2,230 | 100 | 133 | 33 | 30 | 9 | 63 | 152 | 87 | 4 | 4 | 2 | 5 | 3 | 29 | 6 | 373 | 10 | 104 | 175 | 2,230 |
| 計 | 2,580 | 4,278 | 1,646 | 392 | 49 | 71 | 13 | 138 | 401 | 220 | 4 | 7 | 8 | 32 | 7 | 54 | 7 | 422 | 21 | 248 | 237 | 4,278 |

4. ちばチャレンジ企業助成事業（中小企業総合支援事業）実施一覧

(1) 創業応援助成金事業

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|----------------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | (株) BorderTech | 流山市 | <p><u>事業テーマ：企業の海外展開コストを圧倒的に向上する革新的VRプラットフォーム開発とオンライン展示会の主催事業</u></p> <p>開発したHPでは、当社が主催する展示会やイベントにダイレクトに申し込みができ、ユーザーの利便性を高めることができた。</p> <p>また、セミナーや海外進出関連のブログ・実績紹介など各種コンテンツの発信を実現した。</p> |
| 2 | 山形 友哉 | 茂原市 | <p><u>事業テーマ：野良猫・保護猫専門動物病院</u></p> <p>当社は、野良猫専門として猫の捕獲運搬から依頼を受けて、提供するサービスは不妊去勢手術や最低限の予防医療に限定することにより、低価格な野良猫の繁殖制限ができることとなった。</p> <p>また、機器整備により、出張サービスを実現した。</p> |
| 3 | (株) メンサボ | 千葉市 | <p><u>事業テーマ：認知行動療法を学ぶ e-learning 講座学習者に対する”人”によるフォローアップ事業</u></p> <p>この事業では、認知行動療法を学ぶ e-learning 講座のオンライン授業やネット教材による養成に加え、修了生や受講生に対して「人」による個別相談やフォローアップ・ロールプレイを行うことにより、各現場での認知行動療法の実践を図った。</p> |
| 4 | 杉本 直久 | 長柄町 | <p><u>事業テーマ：なたね油を100%原料油脂として用いた純国産石けんの製造</u></p> <p>良質な石鹸の製造は、各種の条件を踏まえ試行錯誤を重ねる必要があります。本事業では、攪拌回転数、回転軸位置、攪拌翼の種類及び位置、反応温度・時間、型入れのタイミングを検討して最適解を求めた。その結果、単一植物油100%の固形石鹸の中規模生産が可能となった。</p> |

(2) 高度・成長研究開発助成事業

①新規 2件

| No. | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|-----|---------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | (株) シー・ヴィ・リサーチ | 市川市 | <p><u>事業テーマ：高温成膜を可能とするミニバッチ式ALD装置における基板温度確認のための実証実験</u></p> <p>電子制御化が多岐にわたるEV自動車を始めとする電子機器に用いられるパワー半導体の高性能化に必要となる良質な窒化膜の成膜が可能な革新的ALD(原子層堆積)成膜方法を考案した。(本事業開始前に特許申請済)本事業では、上記成膜方法を検証する為の試験装置を製作し上記成膜方法の基礎となるサセプターや基板の到達温度と温度履歴のデータ取得等を目的とする実証実験を通して現時点での達成項目並び課題を明らかにした。</p> |
| 2 | (株) モノベエン ジニアリング | 千葉市 | <p><u>事業テーマ：溶け込んでイオン化している物質も除去出来るハイブリッドろ過技術の発明・開発</u></p> <p>弊社考案の溶存する放射性セシウムやストロンチウムを吸着する不溶性フェロシアン化コバルト微粉体を合成する装置の試作機の製作と、この化学的吸着剤を用いて放射性セシウムやストロンチウムを、ばね式フィルターを用いる物理的ろ過方式を融合させた新技術のハイブリッドろ過装置の試作機の製作し、実証実験に於ける実験機材の性能、この研究開発の成果と実験分析データを基に、吸着剤の合成方法及び合成装置とハイブリッドろ過装置の特許2件を申請した。</p> |

②継続 4件

| No. | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|-----|------------------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | (株) ケミコート | 東金市 | <p><u>事業テーマ：車載用全固体リチウムイオン電池の実用化を加速させるキーマテリアルであるArgyrodite型硫化物固体電解質の量産技術の研究開発</u></p> <p>車載用全固体リチウムイオン電池(LIB)を実用化させるキーマテリアルである硫化物固体電解質の量産技術の確立は、緊急課題となっている。令和4年度硫化物固体電解質の研究開発基盤を構築し、硫化物固体電解質の原料となる硫化リチウムの安価な新規製造方法を開発した。令和5年度硫化リチウムの新規製法に関する大量合成要素技術及びArgyrodite型硫化物固体電解質Li6PS5Clの大量合成要素技術の研究開発を行った。</p> |
| 2 | マジェリカ・ ジャパン(株) | 柏市 | <p><u>事業テーマ：パルスNMRによる高濃度微粒子分散体の比表面積(粒子径)品質管理インラインセンサーの開発および実用化</u></p> <p>電池や精密電子部品は高濃度で微粒子が分散した状態が中間体であったり最終製品である。しかし多くの場合高濃度のまま分散状態を評価管理する事は困難である。高濃度分散体の評価が可能な卓上型パルスNMRのセンサー部を輸入し、少人数にて生産工程管理に適用可能なインライン型への改造を行った。</p> |
| 3 | (株)インファーマ シア | 千葉市 | <p><u>事業テーマ：健康寿命尤進を目標とした加齢疾患治療・予防薬の開発</u></p> <p>令和5年度は、以下の事業を実施した： 【プラスミド遺伝子導入技術最適化】 前年度に知財出願を行ったヒト皮下脂肪培養技術を用い、プラスミド遺伝子の脂肪細胞への導入を効率化させる因子の検討を実施した。 【開発候補遺伝子の組み合わせの検討】 前年度に知財出願を行ったヒト皮下脂肪培養技術を用い、生物活性や遺伝子発現変動を指標に、組換たんぱく質を用いてミトコンドリア活性や代謝活性を向上させる遺伝子の組み合わせを検討した。</p> |
| 4 | (株) Liquidmetal Technologies Japan | 船橋市 | <p><u>事業テーマ：規則化BCCとガラス相の新構造高エントロピー合金を用いた非Pd系水素分離膜の研究開発</u></p> <p>水素を分離する金属膜の新規開発として、Ti基、Ni基等の高エントロピー合金に着目した。新規なTi基BCC(体心立方)単相高エントロピー合金やNi基高エントロピー合金を試作し、その水素透過性を調べた。その結果、特にCrFeCoNiTi高エントロピー合金等において比較的高い水素透過性を示し、今後のさらなる組成の改善によって、さらに高い水素透過係数が得られる可能性を示すことが出来た。</p> |

(3) 市場開拓助成事業

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 出展展示会 | 出展品 |
|----|---------------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 実施概要 | |
| 1 | WIT (株) | 流山市 | エレクトロテストジャパン 2024 (第 38 回ネブコンジャパン) (令和 6 年 1 月 24 日～26 日 : 東京ビッグサイト) | AIP-4000 展示会では、実装基板のサンプルを用意し実際に目視検査のデモを実施、不良検出画像を来訪者に提示し、効果をアピールした。AIP-4000 で検出した不良の修理端末と情報をネットワークし、サンプルの不良箇所を修理する一連の流れをソリューションとしてアピールした。来場者数の実績は約 200 人、退場者の方々よりデモ依頼があり、2024 年度には目標 AIP-4000 2 台～3 台以上の販売台数を達成する見込み。 |
| 2 | オーテックス (株) | 柏市 | NNT2023 (Nanoimprint&Nanoprint Technologies) (令和 5 年 10 月 9 日～11 日 : ポストン・シーポートホテル(米国)) | ナノインプリント用 UV 硬化型高硬度防汚エポキシ樹脂 展示ブースでは、B1 ポスター 3 種と A4 ビラ 8 種を適宜入れ替えて使用。A4 ビラは国際会議&展示会の参加者にすべて配布。 展示会の引き合い件数自体は多くはないが、学会出席者全体にビラを配布することができたと共に、既存の顧客から他の出席者に口コミで紹介をして頂くこともできたので、製品の認知を広げるという最も重要な結果を達成できた。その後、複数社から直接問い合わせあり。 |
| 3 | (株) wash-plus | 浦安市 | 第 8 回国際コインランドリー-EXPO2023 (令和 5 年 12 月 7 日～8 日 : パシフィコ横浜) | 洗剤を使わない洗濯を提供するコインランドリーの狭小店モデルのフランチャイズ ブースでは、「コインランドリーwash+」と「smart laundry」の二つに分けることで、無料講演枠の確保と、弊社コインランドリーの特徴説明の深堀りを行うこととした。ターゲットが絞られた展示会であるため来場者数は多くないが濃度が高く、弊社代表の講演は満席(約 40 席)となり講演後にブースにて詳細説明を求められた。 狭小場所への設置が可能な実機を実際に見て触っていただくことができ、要望等も聞き取ることができた。 |
| 4 | (株) 野田ハッピー | 野田市 | 厨房設備機器展 (令和 6 年 2 月 13 日～16 日 : 東京ビッグサイト) | 焼き鳥 SKY フード 展示会では、会社案内、商品紹介チラシの配布により、多くの来訪者に当社と当社商品を認識していただくことができた。 成果として、展示会開催中の問い合わせ件数 : 22 件、問い合わせ件数の内、商談継続数 : 4 件。 |
| 5 | (株) アイ・メデックス | 千葉市 | MEDICA FAIR THAILAND2023 (令和 5 年 9 月 13 日～15 日 : BITEC Bangkok(タイ)) | ウェアラブル生体センサー用電極「マイロード」 当社の代表製品でもあり、現在もっとも注力しているウェアラブル生体センサー用電極「マイロード」シリーズを中心に販路拡大が目的。ターゲットは医療機器メーカーのみならず、新規参入(ヘルスケアなど)を試みている異業種企業。 成果としては、具体的な商談が増加し、想像以上であった。 |
| 6 | (株) ニチオン | 船橋市 | 第 13 回日本低侵襲・内視鏡脊髄神経外科学会 (令和 5 年 7 月 21 日～22 日 : 大阪大学コンベンションセンター) | TMJ システム 当製品のメリットである内視鏡下手術での患者様への負担の軽減(体表にあける孔の数の減少、孔径の縮小)を説明し、実機の展示や、実際に手に取り使い勝手を確認していただいた。また、改善要望点や今後期待する製品ラインナップなどをヒヤリングすることができた。脊髄神経手術に於いて、内視鏡下手術はあまり実施されていないが、医師の方々に興味を持っていることが確認でき、医師のニーズに則した製品開発を行うことも必要と感じた。 |
| 7 | (株) NISHIHARA | 柏市 | Photonix2023 (光・レーザ技術展) (令和 5 年 10 月 4 日～6 日 : 幕張メッセ) | 溶け込み深さモニタリング装置「NWA-1」 出展製品の NWA-1 を展示し、PC 上で実際の音響信号等を確認しながら説明できるように展示した。役員 1 名、営業 2 名、技術 1 名、ヘルプスタッフ 1 名の計 5 名で対応し、既存のシステムとの違いや来場者のニーズと照らし合わせながら設置方法やどのような溶接に適用出来るか等、具体的な内容を基に説明を行った。 |

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 出展展示会 | 出展品 |
|----|-------------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| | | | 実施概要 | |
| 8 | (株) 吉野機械製作所 | 千葉市 | 第7回プレス・板金・フォーミング展 MF-TOKYO2023 (令和5年7月12日～15日:東京ビッグサイト) | 高速ノッチングマシン YN シリーズ |
| | | | 展示会では、高速ノッチング(切り欠き)マシンを含む新製品3機種の展示と、モニターを活用して最新技術のPR動画を流したり、ナレーターによる製品説明と実際にマシンを動かす場面を見ていただいた。また、問い合わせや引き合いのあった来場者の方には、商談ブースへ案内し、営業が対応を行った。 | |
| 9 | (株) アルガルバイオ | 柏市 | メディカルジャパン東京(健康サポートEXPO) (令和5年10月11日～13日:幕張メッセ) | 藻類サプリメント「Moneru」 |
| | | | 微細藻類を活用した新規サプリメント Moneru の販売先、認知拡大を目的とし、サンプルの配付を行い、当製品の安全性や、心身の健康維持に重要な睡眠に効果があることを示したエビデンスやポスターをブース内に掲示した。また、認知拡大のためセミナーサイトにおけるバナー広告を実施した。展示会では、販路開拓候補先であるクリニック、エステ、トレーニングジム、調剤薬局、介護施設等幅広い関係者との接点を作ることができた。 | |
| 10 | (株) ミヤビテクノ | 船橋市 | HCJ2024 (令和6年2月13日～16日:東京ビッグサイト) | ワンタッチGT(グリーストラップ清掃ツール) |
| | | | 新製品のワンタッチグリース・トラップ清掃ツールを出展した。実際のグリーストラップに見立てた展示台や、パンフレット、製品動画にて簡単にゴミを受けるネットが装着できること、また、ゴミを受けたネットがレバーを押すだけで簡単に外れることを来場者に説明した。今回の展示会が実質的な発表会になったが、事業者の多くが必要を感じていることが分かった。併せて、清掃時に必要な掬いアミや油吸着材も紹介した。 | |

(4) 地域資源活用開発助成事業

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|-----------|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | きよなん(株) | 鋸南町 | <u>事業テーマ: 鋸南町産農産物を使用したフランクフルトの商品開発及び販路開拓</u> きよなん(株)では、クラフトビール「鋸南麦酒」製造を主業としており、そのおつまみとなるような千葉県産の柑橘果肉スライスのセミドライ入り新食感のフランクフルト及びソーセージを開発した。本商品は、町の観光資源「頼朝桜」の廃棄剪定枝の活用し燻製している。試作品は、商品や訴求点の改良に活用した。 |
| 2 | (株) アフリット | 木更津市 | <u>事業テーマ: 木更津特産のブルーベリーを使ったオリジナルソースの開発とマーケティング</u> 老舗醤油メーカーから引き継がれたインディアンソースのレシピを元に木更津産のブルーベリーを贅沢に使用した高級オリジナルソースを開発し、試作品はガチョウ肉に合わせるなどをし、幅広く肉料理に合うようなソースとして、デザインと販売戦略を構築した。 |
| 3 | 新生水産(株) | 船橋市 | <u>事業テーマ: 千葉県産マグロを使用した、ねぎとろの商品開発及び販路開拓</u> 銚子漁港で水揚げられたマグロを使用し、独自技術を用いて、量販店等で取扱・販売のしやすいねぎとろを開発した。味覚や色合いを検証しながら試作を重ねた。展示会に出展した結果、主に量販店のバイヤーに好評であり、販路拡大につなげた。 |

(5) 事業承継支援助成金事業

| No | 企業の業種 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|-------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 製造業 | 銚子市 | <u>助成対象事業: 事業承継計画の策定委託</u> 当事業者が事業に携わってきた地域では、少子高齢化が特に顕著であり、事業承継問題も喫緊の課題となっていた。そのような中、時代に淘汰される前に、イノベーションを起こしていくためには、第三者承継を中心とした事業承継を考えていく必要があったことから、事業承継計画の策定について外部事業者へ委託した。 |
| 2 | 製造業 | 野田市 | <u>助成対象事業: M&A仲介委託</u> 当事業者は、事業の後継者が不在であったため、第三者への事業譲渡を計画していた。そこで、事業を第三者へ譲渡するにあたり、株式譲渡価格の算定や株式譲渡契約書の策定等といった、専門的知識が必要な手続きが発生することから、M&Aの仲介業務を外部事業者へ委託した。 |
| 3 | 製造業 | 松戸市 | <u>助成対象事業: 企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、代表者変更後も、株式の大部分を先代経営者が保有していたため、先代経営者に経営の決定権が委ねられる傾向にあった。そこで、経営権を完全に移行するため、現代表者へ株式を移転する必要があり、また、株式の移転にあたっては、事業承継税制を活用するため、事業 |

| No | 企業の業種 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|-------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 承継計画を策定する必要があった。それに加え、先代経営者が個人で所有する事業用資産を後継者へ引き継ぐとともに、それらを維持していくため、遺言書案の作成及び相続税のシミュレーションを重ねる必要があった。以上のことから、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |
| 4 | 建設業 | 市原市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託</u> 当事業者は、令和5年に親族である従業員に事業承継を予定しており、承継にあたり、企業の株価の算定や株式の配分及び経営資源の把握をする必要があったことから、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定を委託した。 |
| 5 | 建設業 | 千葉市 | <u>助成対象事業：M&A仲介委託</u> 当事業者は、現在の代表者が高齢であり、また、後継者もいなかったことから、第三者への事業譲渡を計画していた。そこで、事業を第三者へ譲渡するにあたり、譲渡金額の価格設定、事業の譲受を希望する者との仲介及び譲渡契約の締結について、専門的知識が必要な手続が発生することから、M&Aの仲介業務を外部事業者に委託した。 |
| 6 | 製造業 | 船橋市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託</u> 当事業者は、将来的に親族への事業承継を円滑に行うとともに、今後の株式の移転の進め方を検討するため、現在の自社株式の評価額を認識する必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定を委託した。 |
| 7 | 製造業 | 千葉市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、代表者から従業員への早期的な事業承継を予定していた。そこで、株式を事業の承継者へ移転するにあたっての株価の算定に加え、事業用資産の評価額の算定を踏まえた事業承継計画を策定するため、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |
| 8 | 建設業 | 習志野市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、令和8年に親族への事業承継を予定していた。代表者が現在所有している株式を後継者へ円滑に移転するにあたっては、株価の算定や相続税や贈与税についての試算を踏まえて事業承継計画の策定を行い、事業承継税制の適用を受ける必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |
| 9 | 建設業 | 千葉市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、令和9年中に親族への事業承継を予定していた。代表者が現在所有している株式を後継者へ円滑に移転するにあたっては、株価の算定や相続税や贈与税についての試算を踏まえて事業承継計画の策定を行い、事業承継税制の適用を受ける必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |
| 10 | 建設業 | 白井市 | <u>助成対象事業：M&A仲介委託</u> 当事業者は、事業の後継者が不在であったため、第三者への事業譲渡を計画していた。既に他の事業者から譲受の希望を受けていたことから、譲渡するにあたり、譲渡価格の算定や譲渡契約書の策定等といった、専門的知識が必要な手続が発生することから、M&Aの仲介業務を外部事業者に委託した。 |
| 11 | 建設業 | 市原市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、令和8年中に親族への事業承継を予定していた。代表者が現在所有している株式を後継者へ円滑に移転するにあたっては、株価の算定や相続税や贈与税についての試算を踏まえて事業承継計画の策定を行い、事業承継税制の適用を受ける必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |
| 12 | 小売業 | 千葉市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、令和9年中に親族への事業承継を予定していた。代表者が現在所有している株式を後継者へ円滑に移転するにあたっては、株価の算定や相続税や贈与税についての試算を踏まえて事業承継計画の策定を行い、事業承継税制の適用を受ける必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |
| 13 | サービス業 | 市川市 | <u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u> 当事業者は、3年以内に親族への事業承継を検討していた。今後、事業承継を進めていくために株式や土地といった資産の評価額の算定や、節税や承継スケジュールを盛り込んだ事業承継計画策定が必要になることから、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。 |

| No | 企業の業種 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|-------|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 14 | 建設業 | 松戸市 | <p><u>助成対象事業：企業価値の算定</u></p> <p>当事業者は、令和5年中に親族である従業員に事業承継を予定していた。承継にあたり、事業承継税制を活用することで円滑な事業承継を行うため、企業の株価の算定をする必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定を委託した。</p> |
| 15 | 卸売業 | 市原市 | <p><u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u></p> <p>当事業者は、令和9年中に親族への事業承継を予定していた。代表者が現在所有している株式を後継者へ円滑に移転するにあたっては、株価の算定や相続税や贈与税についての試算を踏まえて事業承継計画の策定を行い、事業承継税制の適用を受ける必要があった。そこで、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。</p> |
| 16 | 建設業 | 市原市 | <p><u>助成対象事業：企業価値の算定委託、事業承継計画の策定委託</u></p> <p>当事業者は、労働環境を取り巻く昨今の変化に対応するため、次世代に事業を継承し、収益基盤の確保及び経営安定化を図ることを目標としていた。そこで、複数の事業分野に対する段階的な事業展開の視点を盛り込んだ事業承継計画の策定、また、企業価値を算定及び事業承継にあたっての株式移転に係る費用についてシミュレーションを実施することで事業承継にあたって留意する事項を抽出する必要があったことから、専門的知識を有する外部事業者へ企業価値の算定及び事業承継計画の策定を委託した。</p> |
| 17 | サービス業 | 山武市 | <p><u>助成対象事業：M&A仲介委託</u></p> <p>当事業者は、事業の後継者が不在であったため、第三者への事業譲渡を計画していた。既に他の事業者から譲受の希望を受けていたことから、譲渡するにあたり、譲渡価格の算定や譲渡契約書の策定等といった、専門的知識が必要な手続が発生することから、M&Aの仲介業務を外部事業者へ委託した。</p> |

5. ちば中小企業元気づくり基金事業（新商品・新技術開発助成事業）実施一覧

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|----------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | (株) テレウス | 松戸市 | <u>事業テーマ：駆動部と車いすが分離可能な電動車いすの開発</u> 小型化された電磁ブレーキ及び軽量化されたバッテリーを搭載した電動車いすの設計・製造及び本車いすの商品化に必要となる製品の型式認定・付属品であるバッテリーのPSE認証に係る試験を実施し、電動駆動部の開発を行った。 |
| 2 | テクノサイエンス(株) | 柏市 | <u>事業テーマ：白玉点滴【美白注射】効果を経口摂取サプリメント化する研究開発</u> 白玉点滴（注射）はグルタチオンを体の内側から白玉のように白く、美しい肌になれると多くの方から注目されている。また、加齢による肌トラブルを改善するアンチエイジング効果が期待でき、美白と美肌を同時に叶えられる。現状では、グルタチオンを経口摂取すると、胃酸で分解されてしまうことから、助成事業でオリジナルの腸溶性ソフトカプセルの製剤技術を活用した白玉点滴（注射）と変わらない効果のある試作品を開発した。 |
| 3 | (株) テイアイテイ | 柏市 | <u>事業テーマ：調理用ロボット向け保護カバー『RobotFit-Plus（ロボットフィットプラス）』の開発</u> 食品衛生法に対応した2WAY伸縮のシリコンコーティング生地を活用し、着脱が容易でこれまでよりすっきりとしたフォルムで量産可能な調理用に特化した協働ロボットカバー「RobotFit-Plus（ロボットフィットプラス）」の開発を行った。 |
| 4 | リーグソリューションズ(株) | 柏市 | <u>事業テーマ：高精度3次元計測システムの開発</u> 高精度マーカを利用した産業用計測センサシステムを開発。製造現場や建設現場で利用できるカメラと計算機一体となった計測センサシステムを製作した。これにより顧客によるシステム開発の工程数の削減に寄与できるため、企業の製品をスピーディに市場に投入でき、販売を拡大するために必要なセンサシステムとなった。 |
| 5 | トーヨー産業(株) | 八街市 | <u>事業テーマ：生分解性プラスチック製及び不織布巻き低コスト施工機用の暗渠パイプ二種類の開発</u> 本件に適応する農業研究所との協議を踏まえ、当該企業が試作した不織布巻き暗渠排水管を試験圃場にて埋設性能、排水能力の実地テストを行った結果、農業研究所が数年前に開発した土中に引き込むタイプの暗渠施工機に当該企業の暗渠排水管が使用できることが実証され、試験圃場及び土中引き込み施工機による引っ張り力に耐えられる不織布巻き暗渠排水管を開発・製造できた。 |
| 6 | シフトアップ(株) | 八街市 | <u>事業テーマ：コンパクトユニット・アウトドアルーム「Barracks（バラック）」（仮称）の開発</u> キャンピングテントとグランピングの両方のメリットを兼ね備えた新規製品の開発を行った。 |
| 7 | (株) 国際通商 | 千葉市 | <u>事業テーマ：竹林伐採・伐根作業用多機能性重機アタッチメント「くわカッター」開発</u> 竹林伐採に特化した多機能アタッチメントくわカッターのボディを開発。伐採、集積、伐根まで1台で行うことが可能。 また、いかに竹林を「簡単に、安全に、速く」伐採できるかに焦点を当て、実地デモも行いポジティブフィードバックと改善点の気づきを得られた。 |
| 8 | 経営改善研究所 | 浦安市 | <u>事業テーマ：人のIoT導入で位置と健康状態をとらえ、生産性が高く、人が輝く職場を作る</u> スマートウォッチ、IoT、PoP、BIツールを活用して、職場の生産性向上を図り、安全・安心な職場を作ることを目的に、SDGs7,8,9体系を意識し地域課題解決に貢献できるよう浦安鉄鋼団地でDX化の実証実験を展開した。 その結果、1つ目は、ITを使ってモノ、人、仕事の状況を見える化することが、SDGsの推進を強力に進める武器になること。（省エネ→SDGs7、安全安心な職場、人が育つ環境→SDGs8、生産性向上、顧客満足度向上→SDGs9）2つ目は、これらのシステムは低額で使えるもので構成でき、低コストのため地域に普及しうるものであること。そして3つ目は、企業の強み・業務の流れ・方向性を明確にして、一体感をもって改革を進めることがSDGs推進の大前提となることがDXの推進によってわかった。 |
| 9 | (株) Vanwaves | 八街市 | <u>事業テーマ：サウナ用電気ストーブの開発</u> サーモスタット技術、タイマー機能、安全機能について依頼試験を行い、温度・稼働時間制御、省エネルギー化、安全性が実証された実際の製品に近いサウナ用電気ストーブを開発した。 |
| 10 | (株) YGソリューションズ | 佐倉市 | <u>事業テーマ：埋込式センサー用コンテナの開発</u> 金型および周辺加工工具のIoT化を実現するために、対象物内部へセンサーを埋込むための製品（埋込式センサー）開発を進めている。本事業においては、センサーを保護し、対象へ取り付けるための筐体（埋込式センサー用コンテナ）の試作に取組み、製品コンセプトの検証を実施した。実際には3DCADによる製品設計、金属3Dプリンタによる造形を経て、センサーが取り付けられた試作品を製作することができた。また、本品を治工具へ設置した対象物へ負 |

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|-----------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | 荷を与えたところ、センサーからの出力信号が確認され、製品化へのステップを踏むことができた。 |
| 11 | (株) といろ | 市川市 | <u>事業テーマ：子供向け創造性育成ツール「といろ PANEL」の開発</u> 専用ケース内で片面の高さ方向円柱型ネオジム磁石が同極であっても、もう一方が自動反転して吸着する特許技術を活用して、既存商品（BOX 型）と同じ 15cm の倍数ピッチ幅で設計された、混合利用が可能な創造性育成ツールの派生商品（PANEL 型）を開発した。 |
| 12 | ケアスタディ(株) | 千葉市 | <u>事業テーマ：円背のある高齢者向け椅子の開発</u> 本事業では、令和 4 年に実施した円背のある高齢者向け椅子における基礎的な研究・開発の内容に基づき、製品を作るためのデザインと試作、及びその評価を実施した。必要な機能を満たす椅子のデザインについて専門家のアドバイスを受けながら、試作品及び 3D 図面の作成、試作品の評価及び修正を行い、実際の製品に近いところまで高齢者向け椅子を開発することができた。 |
| 13 | (株) ジオグリフ | 流山市 | <u>事業テーマ：360 度 VR 映像の 360 度展開ディスプレイ基礎技術開発事業</u> 360 度 VR 映像を一目で視野に納める内照射型プロジェクションの試作機が完成した。この装置を利用することで、これまで人間の視野の制限を受けて見えていなかった 360 度の映像を有効視野内で表示、視聴することが可能になった。この装置があることにより、教員養成の新たなアプローチになることが見込まれ、兵庫県加西市・国立大学法人兵庫教育大学・当社による産学官の共同研究の話が進んでいる。 |

6. ちば農商工連携事業支援基金事業（農商工連携による新商品開発等助成事業）実施一覧

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | バルスタック (株) | 千葉市 | <u>事業テーマ：千葉県特産果物野菜を使ったフルーツシロップの開発及び販路開拓事業</u> 千葉県産フルーツを使った高付加価値な千葉県産フルーツシロップ開発及び、テストマーケティングを実施した。開発した製品は、主に牛乳などの割材に適しているため、県内牛乳宅配会社、牧場、道の駅、ホテル、飲食店等に配布し、今後の商品開発改良や販路開拓に活用した。 |
| 2 | 味匠慎之介 | 船橋市 | <u>事業テーマ：千葉県ブランド米「粒すけ」を活かして、ご飯の冷凍・解凍技術を応用した新しい米飯商品開発</u> 本事業では、「生鮮食料品（魚、フルーツ等）＋ご飯」を冷凍し、常温解凍してもおいしく食べられる独自技術の研究を行い、試作、試食調査（アンケート）を実施し、一般消費者に受け入れられるよう、新しい冷凍米飯商品を開発した。 |

7. 地域課題解決型起業支援事業実施一覧

| No | 企業名 | 主たる事業の実施地 | 実施概要 |
|----|-------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | (株) さかなドリーム | 館山市 | <u>事業テーマ：夢の魚を創り出す「ハイブリット魚」開発事業</u> 近年の海水温上昇により夏場の海中の溶存酸素量は減少傾向にあることから、低酸素でも飼育が可能な養殖適正の高い魚種を特定した。 また、市場調査により、高級魚ユーザーの中から、当社が狙うべきコアターゲットを選定することができた。 |

令和5年度 決算報告書

1. 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------------|----------------|----------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金 | 40,142 | 44,578 | △ 4,436 |
| 預金 | 229,590,795 | 235,739,746 | △ 6,148,951 |
| 割賦販売未収金 | 5,108,473 | 5,118,473 | △ 10,000 |
| 未収金 | 279,483,384 | 282,323,729 | △ 2,840,345 |
| 1年以内回収予定被災支援貸付金 | 8,172,000 | 8,172,000 | 0 |
| その他流動資産 | 714,892 | 727,196 | △ 12,304 |
| 貸倒引当金 | △ 6,530,401 | △ 6,540,401 | 10,000 |
| 流動資産合計 | 516,579,285 | 525,585,321 | △ 9,006,036 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 基本財産投資有価証券 | 964,000,000 | 964,000,000 | 0 |
| 基本財産合計 | 964,000,000 | 964,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 265,200,044 | 272,228,606 | △ 7,028,562 |
| 共済年金引当資産 | 9,958,826 | 10,322,126 | △ 363,300 |
| 収支差額変動準備金積立資産 | 87,995,474 | 87,995,474 | 0 |
| 償還準備積立資産 | 1,600,000 | 1,600,000 | 0 |
| 貸倒引当資産 | 65,189,215 | 65,188,414 | 801 |
| 元気づくり基金積立資産 | 8,010,000,000 | 8,010,000,000 | 0 |
| 農商工連携基金積立資産 | 2,510,000,000 | 2,510,000,000 | 0 |
| 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産 | 646,490,667 | 640,840,387 | 5,650,280 |
| 復興ファンド積立資産 | 12,816,039 | 13,196,184 | △ 380,145 |
| 特定資産合計 | 11,609,250,265 | 11,611,371,191 | △ 2,120,926 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物附属設備 | 3,468,667 | 3,941,667 | △ 473,000 |
| 器具備品 | 776,064 | 1,446,810 | △ 670,746 |
| リース資産 | 10,074,900 | 19,073,244 | △ 8,998,344 |
| 電話加入権 | 210,900 | 210,900 | 0 |
| 出資金 | 17,534,291 | 19,786,323 | △ 2,252,032 |
| 被災支援貸付金 | 66,483,000 | 74,655,000 | △ 8,172,000 |
| 被災支援貸付未収金 | 15,332,066 | 16,760,066 | △ 1,428,000 |
| 被災支援貸付金貸倒引当金 | △ 26,900,108 | △ 29,750,036 | 2,849,928 |
| その他固定資産合計 | 86,979,780 | 106,123,974 | △ 19,144,194 |
| 固定資産合計 | 12,660,230,045 | 12,681,495,165 | △ 21,265,120 |
| 資産合計 | 13,176,809,330 | 13,207,080,486 | △ 30,271,156 |

1. 貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|---------------|----------------|----------------|--------------|
| Ⅱ 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 75,645,394 | 76,597,510 | △ 952,116 |
| 預り金 | 17,020,034 | 11,154,690 | 5,865,344 |
| 短期借入金 | 110,000,000 | 130,000,000 | △ 20,000,000 |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 8,172,000 | 8,172,000 | 0 |
| 未払法人税等 | 70,000 | 826,100 | △ 756,100 |
| 未払消費税等 | 9,294,200 | 1,683,000 | 7,611,200 |
| 賞与引当金 | 21,824,000 | 22,785,000 | △ 961,000 |
| その他流動負債 | 30,000 | 0 | 30,000 |
| 流動負債合計 | 242,055,628 | 251,218,300 | △ 9,162,672 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 県借入金 | 10,613,079,368 | 10,625,311,545 | △ 12,232,177 |
| その他借入金 | 600,000,000 | 600,000,000 | 0 |
| 退職給付引当金 | 265,200,044 | 272,228,606 | △ 7,028,562 |
| 共済年金引当金 | 9,958,826 | 10,322,126 | △ 363,300 |
| リース債務 | 10,074,900 | 19,073,244 | △ 8,998,344 |
| 固定負債合計 | 11,498,313,138 | 11,526,935,521 | △ 28,622,383 |
| 負債合計 | 11,740,368,766 | 11,778,153,821 | △ 37,785,055 |
| Ⅲ 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄付金 | 964,000,000 | 964,000,000 | 0 |
| 指定正味財産合計 | 964,000,000 | 964,000,000 | 0 |
| (うち基本財産への充当額) | (964,000,000) | (964,000,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 2. 一般正味財産 | 472,440,564 | 464,926,665 | 7,513,899 |
| (うち基本財産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (87,995,474) | (87,995,474) | (0) |
| 正味財産合計 | 1,436,440,564 | 1,428,926,665 | 7,513,899 |
| 負債及び正味財産合計 | 13,176,809,330 | 13,207,080,486 | △ 30,271,156 |

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日 現在

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 収益目的事業会計 | 法人管理 | 内部取引 | 合 計 |
|---------------------|----------------|-------------|-------------|--------------|----------------|
| I 資産の部 | | | | | |
| 1. 流動資産 | | | | | |
| 現金 | 0 | 40,142 | 0 | 0 | 40,142 |
| 預金 | 131,042,202 | 79,775,164 | 18,773,429 | 0 | 229,590,795 |
| 割賦販売未収金 | 5,108,473 | 0 | 0 | 0 | 5,108,473 |
| 未収金 | 273,225,851 | 1,818,225 | 5,412,111 | △972,803 | 279,483,384 |
| 1年以内回収予定被災支援貸付金 | 8,172,000 | 0 | 0 | 0 | 8,172,000 |
| 事業資金立替金 | 35,600,000 | 91,200,000 | 0 | △126,800,000 | 0 |
| その他流動資産 | 18,814,716 | 149,116 | 88,260 | △18,337,200 | 714,892 |
| 貸倒引当金 | △6,530,401 | 0 | 0 | 0 | △6,530,401 |
| 流動資産合計 | 465,432,841 | 172,982,647 | 24,273,800 | △146,110,003 | 516,579,285 |
| 2. 固定資産 | | | | | |
| (1) 基本財産 | | | | | |
| 基本財産投資有価証券 | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 0 | 964,000,000 |
| 基本財産合計 | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 0 | 964,000,000 |
| (2) 特定資産 | | | | | |
| 退職給付引当資産 | 193,120,308 | 4,059,018 | 68,020,718 | 0 | 265,200,044 |
| 共済年金引当資産 | 7,966,126 | 8,700 | 1,984,000 | 0 | 9,958,826 |
| 収支差額変動準備金積立資産 | 83,865,051 | 4,130,423 | 0 | 0 | 87,995,474 |
| 償還準備積立資産 | 1,600,000 | 0 | 0 | 0 | 1,600,000 |
| 貸倒引当資産 | 65,189,215 | 0 | 0 | 0 | 65,189,215 |
| 元気づくり基金積立資産 | 8,010,000,000 | 0 | 0 | 0 | 8,010,000,000 |
| 農商工連携基金積立資産 | 2,510,000,000 | 0 | 0 | 0 | 2,510,000,000 |
| 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産 | 646,490,667 | 0 | 0 | 0 | 646,490,667 |
| 復興ファンド積立資産 | 0 | 12,816,039 | 0 | 0 | 12,816,039 |
| 特定資産合計 | 11,518,231,367 | 21,014,180 | 70,004,718 | 0 | 11,609,250,265 |
| (3) その他固定資産 | | | | | |
| 建物附属設備 | 3,468,667 | 0 | 0 | 0 | 3,468,667 |
| 器具備品 | 776,064 | 0 | 0 | 0 | 776,064 |
| リース資産 | 6,896,340 | 0 | 3,178,560 | 0 | 10,074,900 |
| 電話加入権 | 210,900 | 0 | 0 | 0 | 210,900 |
| 出資金 | 3,686,028 | 13,848,263 | 0 | 0 | 17,534,291 |
| 被災支援貸付金 | 66,483,000 | 0 | 0 | 0 | 66,483,000 |
| 被災支援貸付未収金 | 15,332,066 | 0 | 0 | 0 | 15,332,066 |
| 被災支援貸付金貸倒引当金 | △26,900,108 | 0 | 0 | 0 | △26,900,108 |
| その他固定資産合計 | 69,952,957 | 13,848,263 | 3,178,560 | 0 | 86,979,780 |
| 固定資産合計 | 12,311,184,324 | 82,862,443 | 266,183,278 | 0 | 12,660,230,045 |
| 資産合計 | 12,776,617,165 | 255,845,090 | 290,457,078 | △146,110,003 | 13,176,809,330 |
| II 負債の部 | | | | | |
| 1. 流動負債 | | | | | |
| 未払金 | 32,230,294 | 31,463,511 | 11,951,589 | 0 | 75,645,394 |
| 預り金 | 140,240,951 | 2,349,016 | 1,230,067 | △126,800,000 | 17,020,034 |
| 短期借入金 | 110,000,000 | 0 | 0 | 0 | 110,000,000 |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 8,172,000 | 0 | 0 | 0 | 8,172,000 |
| 未払法人税等 | 0 | 0 | 70,000 | 0 | 70,000 |
| 未払消費税等 | 17,897,495 | 8,893,064 | 1,813,644 | △19,310,003 | 9,294,200 |
| 賞与引当金 | 15,181,000 | 1,195,000 | 5,448,000 | 0 | 21,824,000 |
| その他流動負債 | 0 | 30,000 | 0 | 0 | 30,000 |
| 流動負債合計 | 323,721,740 | 43,930,591 | 20,513,300 | △146,110,003 | 242,055,628 |
| 2. 固定負債 | | | | | |
| 県借入金 | 10,586,415,066 | 26,664,302 | 0 | 0 | 10,613,079,368 |
| その他借入金 | 600,000,000 | 0 | 0 | 0 | 600,000,000 |
| 退職給付引当金 | 193,120,308 | 4,059,018 | 68,020,718 | 0 | 265,200,044 |
| 共済年金引当金 | 7,966,126 | 8,700 | 1,984,000 | 0 | 9,958,826 |
| リース債務 | 6,896,340 | 0 | 3,178,560 | 0 | 10,074,900 |
| 固定負債合計 | 11,394,397,840 | 30,732,020 | 73,183,278 | 0 | 11,498,313,138 |
| 負債合計 | 11,718,119,580 | 74,662,611 | 93,696,578 | △146,110,003 | 11,740,368,766 |
| III 正味財産の部 | | | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | | | |
| 寄付金 | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 0 | 964,000,000 |
| 指定正味財産合計 | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 0 | 964,000,000 |
| (うち基本財産への充当額) | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 0 | 964,000,000 |
| (うち特定資産への充当額) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 2. 一般正味財産 | | | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 335,497,585 | 133,182,479 | 3,760,500 | 0 | 472,440,564 |
| (うち特定資産への充当額) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | 83,865,051 | 4,130,423 | 0 | 0 | 87,995,474 |
| 正味財産合計 | 1,058,497,585 | 181,182,479 | 196,760,500 | 0 | 1,436,440,564 |
| 負債及び正味財産合計 | 12,776,617,165 | 255,845,090 | 290,457,078 | △146,110,003 | 13,176,809,330 |

2. 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 5,658,467 | 5,711,967 | △ 53,500 |
| 基本財産受取利息 | 5,658,467 | 5,711,967 | △ 53,500 |
| 特定資産運用益 | 27,167,081 | 26,993,899 | 173,182 |
| 特定資産受取利息 | 27,167,081 | 26,993,899 | 173,182 |
| 受取会費 | 1,500,000 | 1,460,000 | 40,000 |
| 会員受取会費 | 1,500,000 | 1,460,000 | 40,000 |
| 事業収益 | 58,508,256 | 77,685,026 | △ 19,176,770 |
| リース設備売却益 | 0 | 576,800 | △ 576,800 |
| 貸倒引当金戻入益 | 36,290,437 | 35,040,557 | 1,249,880 |
| 償却債権取立益 | 4,436,635 | 13,735,600 | △ 9,298,965 |
| 受取広告料 | 590,000 | 600,000 | △ 10,000 |
| 交流事業収益 | 14,147,694 | 16,637,379 | △ 2,489,685 |
| 受取負担金 | 3,043,490 | 11,094,690 | △ 8,051,200 |
| 受託金収益 | 612,935,061 | 588,823,237 | 24,111,824 |
| 受取県受託金 | 524,980,872 | 510,827,269 | 14,153,603 |
| 受取国庫受託金 | 87,768,607 | 77,785,310 | 9,983,297 |
| その他受託金収益 | 185,582 | 210,658 | △ 25,076 |
| 受取補助金等 | 705,454,742 | 663,898,417 | 41,556,325 |
| 受取国庫補助金 | 8,806,835 | 12,232,731 | △ 3,425,896 |
| 受取県補助金 | 645,156,785 | 641,665,686 | 3,491,099 |
| その他受取補助金 | 51,491,122 | 10,000,000 | 41,491,122 |
| 雑収益 | 1,490,430 | 2,697,762 | △ 1,207,332 |
| 雑収益 | 1,490,430 | 2,697,762 | △ 1,207,332 |
| 経常収益計 | 1,412,714,037 | 1,367,270,308 | 45,443,729 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 1,239,161,462 | 1,204,922,923 | 34,238,539 |
| 機械類信用保険回収返還費 | 877,921 | 239,265 | 638,656 |
| リース信用保険回収返還費 | 496,110 | 4,175,877 | △ 3,679,767 |
| 損失補填回収返還費 | 1,295,313 | 546,817 | 748,496 |
| 役員報酬 | 11,710,490 | 11,638,376 | 72,114 |
| 給与手当 | 180,817,889 | 188,708,962 | △ 7,891,073 |
| 福利厚生費 | 82,284,939 | 78,174,605 | 4,110,334 |
| 退職給付費用 | 7,326,476 | 12,827,559 | △ 5,501,083 |
| 報酬 | 253,826,940 | 249,110,886 | 4,716,054 |
| 通勤手当 | 11,841,565 | 12,088,952 | △ 247,387 |
| 謝金 | 85,821,456 | 95,645,200 | △ 9,823,744 |
| 旅費 | 17,254,234 | 16,389,173 | 865,061 |
| 保険料 | 460,570 | 532,230 | △ 71,660 |
| 租税公課 | 27,100,159 | 25,664,504 | 1,435,655 |
| 事務費 | 100,201,163 | 105,839,098 | △ 5,637,935 |
| 備品費 | 4,355,692 | 4,493,434 | △ 137,742 |
| 減価償却費 | 6,963,530 | 9,266,534 | △ 2,303,004 |
| 材料及び賃借料 | 70,111,345 | 67,025,668 | 3,085,677 |
| 支払委託料 | 176,223,862 | 169,716,960 | 6,506,902 |
| 支払負担金 | 40,737,691 | 32,684,469 | 8,053,222 |
| 支払利息 | 1,527,087 | 1,508,350 | 18,737 |
| 預研究機器費 | 1,509,200 | 1,749,000 | △ 239,800 |
| 支払助成金 | 105,649,968 | 62,126,000 | 43,523,968 |
| 貸倒引当金繰入額 | 33,430,509 | 36,317,004 | △ 2,886,495 |
| 賞与引当金繰入額 | 16,376,000 | 17,604,000 | △ 1,228,000 |
| 雑費 | 961,353 | 850,000 | 111,353 |

2. 正味財産増減計算書

令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 管理費 | 166,038,676 | 160,495,196 | 5,543,480 |
| 役員報酬 | 27,373,710 | 27,208,327 | 165,383 |
| 給料手当 | 68,573,997 | 67,363,481 | 1,210,516 |
| 福利厚生費 | 17,030,500 | 16,552,366 | 478,134 |
| 退職給付費用 | 4,189,248 | 3,903,101 | 286,147 |
| 報酬 | 2,791,873 | 1,530,900 | 1,260,973 |
| 通勤手当 | 210,227 | 69,680 | 140,547 |
| 謝金 | 5,128,020 | 5,107,780 | 20,240 |
| 旅費 | 379,985 | 399,001 | △ 19,016 |
| 租税公課 | 1,900,000 | 1,800,000 | 100,000 |
| 事務費 | 14,406,980 | 12,011,672 | 2,395,308 |
| 備品費 | 940,093 | 0 | 940,093 |
| 減価償却費 | 3,178,560 | 3,178,560 | 0 |
| 使用料及び賃借料 | 9,422,177 | 8,874,805 | 547,372 |
| 支払委託料 | 1,633,126 | 3,350,182 | △ 1,717,056 |
| 支払負担金 | 3,432,180 | 3,964,341 | △ 532,161 |
| 賞与引当金繰入額 | 5,448,000 | 5,181,000 | 267,000 |
| 経常費用計 | 1,405,200,138 | 1,365,418,119 | 39,782,019 |
| 当期経常増減額 | 7,513,899 | 1,852,189 | 5,661,710 |
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| その他収益 | 0 | 2,062,860 | △ 2,062,860 |
| 債務免除益 | 0 | 2,062,860 | △ 2,062,860 |
| 経常外収益計 | 0 | 2,062,860 | △ 2,062,860 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 2,062,860 | △ 2,062,860 |
| 当期一般正味財産増減額 | 7,513,899 | 3,915,049 | 3,598,850 |
| 一般正味財産期首残高 | 464,926,665 | 461,011,616 | 3,915,049 |
| 一般正味財産期末残高 | 472,440,564 | 464,926,665 | 7,513,899 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| (指定)基本財産運用益 | 5,658,467 | 5,711,967 | △ 53,500 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 5,658,467 | △ 5,711,967 | 53,500 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 964,000,000 | 964,000,000 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 964,000,000 | 964,000,000 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 1,436,440,564 | 1,428,926,665 | 7,513,899 |

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | | 収益目的事業計 | 法人会計 | 合 計 |
|--------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------------|----------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| | 技術・研究開発、 新事業育成等 支援事業 | 経営基盤強化、 地域活性化等 支援事業 | 若年者の就業、 企業の人材 確保等支援 事業 | 公益目的事業 (共通) | 公益目的事業計 | | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | |
| 基本財産運用益 | 1,530,555 | 0 | 1,574,121 | 783,200 | 3,887,876 | 561,590 | 1,209,001 | 5,658,467 |
| 基本財産受取利息 | 1,530,555 | 0 | 1,574,121 | 783,200 | 3,887,876 | 561,590 | 1,209,001 | 5,658,467 |
| 特定資産運用益 | 0 | 26,955,081 | 0 | 0 | 26,955,081 | 0 | 212,000 | 27,167,081 |
| 特定資産受取利息 | 0 | 26,955,081 | 0 | 0 | 26,955,081 | 0 | 212,000 | 27,167,081 |
| 受取会費 | 1,500,000 | 0 | 0 | 0 | 1,500,000 | 0 | 0 | 1,500,000 |
| 会員受取会費 | 1,500,000 | 0 | 0 | 0 | 1,500,000 | 0 | 0 | 1,500,000 |
| 事業収益 | 0 | 42,095,127 | 0 | 0 | 42,095,127 | 16,413,129 | 0 | 58,508,256 |
| リース設備売却益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 貸倒引当金戻入益 | 0 | 36,290,437 | 0 | 0 | 36,290,437 | 0 | 0 | 36,290,437 |
| 償却債権取立益 | 0 | 2,781,000 | 0 | 0 | 2,781,000 | 1,655,635 | 0 | 4,436,635 |
| 受取広告料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 590,000 | 0 | 590,000 |
| 交流事業収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,147,694 | 0 | 14,147,694 |
| 受取負担金 | 0 | 3,023,690 | 0 | 0 | 3,023,690 | 19,800 | 0 | 3,043,490 |
| 受託金収益 | 45,539,952 | 188,778,351 | 117,182,758 | 0 | 351,501,061 | 252,464,242 | 8,969,758 | 612,935,061 |
| 受取県受託金 | 45,539,952 | 100,824,162 | 117,182,758 | 0 | 263,546,872 | 252,464,242 | 8,969,758 | 524,980,872 |
| 受取国庫受託金 | 0 | 87,768,607 | 0 | 0 | 87,768,607 | 0 | 0 | 87,768,607 |
| その他受託金収益 | 0 | 185,582 | 0 | 0 | 185,582 | 0 | 0 | 185,582 |
| 受取補助金等 | 140,600,052 | 357,117,674 | 27,656,951 | 23,173,206 | 548,547,883 | 1,313,942 | 155,592,917 | 705,454,742 |
| 受取国庫補助金 | 8,806,835 | 0 | 0 | 0 | 8,806,835 | 0 | 0 | 8,806,835 |
| 受取県補助金 | 131,793,217 | 315,626,552 | 17,656,951 | 23,173,206 | 488,249,926 | 1,313,942 | 155,592,917 | 645,156,785 |
| その他受取補助金 | 0 | 41,491,122 | 10,000,000 | 0 | 51,491,122 | 0 | 0 | 51,491,122 |
| 雑収益 | 20,000 | 1,257,470 | 0 | 0 | 1,277,470 | 212,960 | 0 | 1,490,430 |
| 雑収益 | 20,000 | 1,257,470 | 0 | 0 | 1,277,470 | 212,960 | 0 | 1,490,430 |
| 経常収益計 | 189,190,559 | 616,203,703 | 146,413,830 | 23,956,406 | 975,764,498 | 270,965,863 | 165,983,676 | 1,412,714,037 |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | |
| 事業費 | 190,917,520 | 599,459,977 | 147,036,364 | 23,956,406 | 961,370,267 | 277,791,195 | 0 | 1,239,161,462 |
| 機械類信用保険回収返還費 | 0 | 726,203 | 0 | 0 | 726,203 | 151,718 | 0 | 877,921 |
| リース信用保険回収返還費 | 0 | 496,110 | 0 | 0 | 496,110 | 0 | 0 | 496,110 |
| 損失補填回収返還費 | 0 | 1,174,408 | 0 | 0 | 1,174,408 | 120,905 | 0 | 1,295,313 |
| 役員報酬 | 5,103,900 | 0 | 2,971,800 | 1,738,188 | 9,813,888 | 1,896,602 | 0 | 11,710,490 |
| 給与手当 | 57,720,913 | 94,345,280 | 11,716,884 | 4,074,298 | 167,857,375 | 12,960,514 | 0 | 180,817,889 |
| 福利厚生費 | 20,817,407 | 33,036,583 | 16,037,697 | 1,209,747 | 71,101,434 | 11,183,505 | 0 | 82,284,939 |
| 退職給付費用 | 2,378,473 | 4,381,953 | 137,960 | 261,289 | 7,159,675 | 166,801 | 0 | 7,326,476 |
| 報酬 | 50,243,608 | 89,900,000 | 71,957,468 | 0 | 212,101,076 | 41,725,864 | 0 | 253,826,940 |
| 通勤手当 | 2,981,014 | 3,147,218 | 3,124,340 | 0 | 9,252,572 | 2,588,993 | 0 | 11,841,565 |
| 謝金 | 5,042,155 | 79,548,300 | 618,001 | 0 | 85,208,456 | 613,000 | 0 | 85,821,456 |
| 旅費 | 2,252,454 | 13,377,524 | 987,616 | 0 | 16,617,594 | 636,640 | 0 | 17,254,234 |
| 保険料 | 0 | 1,750 | 8,910 | 0 | 10,660 | 449,910 | 0 | 460,570 |
| 租税公課 | 3,706,795 | 6,881,199 | 7,534,421 | 0 | 18,122,415 | 8,977,744 | 0 | 27,100,159 |
| 事務費 | 4,231,822 | 13,936,504 | 10,183,317 | 11,140,095 | 39,491,738 | 60,709,425 | 0 | 100,201,163 |
| 備品費 | 0 | 175,153 | 1,784,585 | 0 | 1,959,738 | 2,395,954 | 0 | 4,355,692 |
| 減価償却費 | 0 | 6,350,996 | 612,534 | 0 | 6,963,530 | 0 | 0 | 6,963,530 |
| 使用料及び賃借料 | 17,014,339 | 25,549,132 | 14,960,315 | 5,532,789 | 63,056,575 | 7,054,770 | 0 | 70,111,345 |
| 支払委託料 | 3,789,192 | 60,157,900 | 3,191,516 | 0 | 67,138,608 | 109,085,254 | 0 | 176,223,862 |
| 支払負担金 | 9,200,000 | 17,168,295 | 0 | 0 | 26,368,295 | 14,369,396 | 0 | 40,737,691 |
| 支払利息 | 65,095 | 1,461,992 | 0 | 0 | 1,527,087 | 0 | 0 | 1,527,087 |
| 預研究機器費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,509,200 | 0 | 1,509,200 |
| 支払助成金 | 0 | 105,649,968 | 0 | 0 | 105,649,968 | 0 | 0 | 105,649,968 |
| 貸倒引当金繰入額 | 0 | 33,430,509 | 0 | 0 | 33,430,509 | 0 | 0 | 33,430,509 |
| 賞与引当金繰入額 | 5,409,000 | 8,563,000 | 1,209,000 | 0 | 15,181,000 | 1,195,000 | 0 | 16,376,000 |
| 雑費 | 961,353 | 0 | 0 | 0 | 961,353 | 0 | 0 | 961,353 |

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位：円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | | | | | 収益目的事業計 | 法人会計 | 合 計 |
|---------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------------|----------------|---------------|-------------|-------------|---------------|
| | 技術・研究開発、 新事業育成等 支援事業 | 経営基盤強化、 地域活性化等 支援事業 | 若年者の就業、 企業の人材 確保等支援 事業 | 公益目的事業 (共通) | 公益目的事業計 | | | |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 166,038,676 | 166,038,676 |
| 役員報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 27,373,710 | 27,373,710 |
| 給料手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 68,573,997 | 68,573,997 |
| 福利厚生費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 17,030,500 | 17,030,500 |
| 退職給付費用 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,189,248 | 4,189,248 |
| 報酬 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,791,873 | 2,791,873 |
| 通勤手当 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 210,227 | 210,227 |
| 謝金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,128,020 | 5,128,020 |
| 旅費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 379,985 | 379,985 |
| 租税公課 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,900,000 | 1,900,000 |
| 事務費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,406,980 | 14,406,980 |
| 備品費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 940,093 | 940,093 |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,178,560 | 3,178,560 |
| 使用料及び賃借料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,422,177 | 9,422,177 |
| 支払委託料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,633,126 | 1,633,126 |
| 支払負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,432,180 | 3,432,180 |
| 賞与引当金繰入額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5,448,000 | 5,448,000 |
| 経常費用計 | 190,917,520 | 599,459,977 | 147,036,364 | 23,956,406 | 961,370,267 | 277,791,195 | 166,038,676 | 1,405,200,138 |
| 当期経常増減額 | △1,726,961 | 16,743,726 | △622,534 | 0 | 14,394,231 | △6,825,332 | △55,000 | 7,513,899 |
| 2. 経常外増減の部 | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | | |
| その他収益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 債務免除益 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 他会計振替額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △1,726,961 | 16,743,726 | △622,534 | 0 | 14,394,231 | △6,825,332 | △55,000 | 7,513,899 |
| 一般正味財産期首残高 | 33,610,158 | 228,625,727 | 4,550,471 | 54,316,998 | 321,103,354 | 140,007,811 | 3,815,500 | 464,926,665 |
| 一般正味財産期末残高 | 31,883,197 | 245,369,453 | 3,927,937 | 54,316,998 | 335,497,585 | 133,182,479 | 3,760,500 | 472,440,564 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| (指定)基本財産運用益 | 3,268,570 | 0 | 0 | 1,433,507 | 4,702,077 | 85,920 | 870,470 | 5,658,467 |
| 一般正味財産への振替額 | △3,268,570 | 0 | 0 | △1,433,507 | △4,702,077 | △85,920 | △870,470 | △5,658,467 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 443,000,000 | 0 | 0 | 280,000,000 | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 964,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 443,000,000 | 0 | 0 | 280,000,000 | 723,000,000 | 48,000,000 | 193,000,000 | 964,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 474,883,197 | 245,369,453 | 3,927,937 | 334,316,998 | 1,058,497,585 | 181,182,479 | 196,760,500 | 1,436,440,564 |

3. キャッシュ・フロー計算書（直接法）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|--------------------|---------------|---------------|--------------|
| I 事業活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 事業活動収入 | | | |
| 基本財産運用収入 | 5,658,467 | 5,711,967 | △ 53,500 |
| 基本財産受取利息収入 | 5,658,467 | 5,711,967 | △ 53,500 |
| 特定資産運用収入 | 27,167,081 | 26,993,899 | 173,182 |
| 特定資産受取利息収入 | 27,167,081 | 26,993,899 | 173,182 |
| 会費収入 | 1,500,000 | 1,460,000 | 40,000 |
| 会員会費収入 | 1,500,000 | 1,460,000 | 40,000 |
| 事業収入 | 32,575,097 | 52,876,905 | △ 20,301,808 |
| 割賦設備未収金回収収入 | 10,000 | 8,000 | 2,000 |
| 被災支援貸付金回収収入 | 8,172,000 | 9,240,000 | △ 1,068,000 |
| 被災支援貸付未収金回収収入 | 1,428,000 | 2,318,000 | △ 890,000 |
| リース未収規定損害金回収収入 | 0 | 57,169 | △ 57,169 |
| リース設備売却収入 | 0 | 576,800 | △ 576,800 |
| 償却債権取立収入 | 4,436,635 | 13,735,600 | △ 9,298,965 |
| 広告料収入 | 650,000 | 600,000 | 50,000 |
| 交流事業収入 | 14,834,972 | 15,246,646 | △ 411,674 |
| 負担金収入 | 3,043,490 | 11,094,690 | △ 8,051,200 |
| 受託金収入 | 600,602,835 | 608,223,727 | △ 7,620,892 |
| 県受託金収入 | 514,665,964 | 528,411,166 | △ 13,745,202 |
| 国受託金収入 | 85,751,289 | 79,601,903 | 6,149,386 |
| その他受託金収入 | 185,582 | 210,658 | △ 25,076 |
| 補助金等収入 | 818,454,502 | 862,925,412 | △ 44,470,910 |
| 国補助金収入 | 12,232,731 | 16,804,076 | △ 4,571,345 |
| 県補助金収入 | 641,604,686 | 653,462,802 | △ 11,858,116 |
| その他補助金収入 | 51,491,122 | 10,000,000 | 41,491,122 |
| 基盤技術補助金預り金収入 | 89,509,700 | 179,558,534 | △ 90,048,834 |
| 外国出願補助金預り金収入 | 2,482,000 | 3,100,000 | △ 618,000 |
| 成長型開発補助金預り金収入 | 21,134,263 | 0 | 21,134,263 |
| 雑収入 | 2,087,542 | 658,034 | 1,429,508 |
| 雑収入 | 2,087,542 | 658,034 | 1,429,508 |
| その他事業活動収入 | 10,456,127 | 2,015,144 | 8,440,983 |
| その他収入 | 10,456,127 | 2,015,144 | 8,440,983 |
| 事業活動収入計 | 1,498,501,651 | 1,560,865,088 | △ 62,363,437 |
| 2. 事業活動支出 | | | |
| 事業費支出 | 1,316,435,376 | 1,280,726,563 | 35,708,813 |
| 機械類信用保険回収返還金支出 | 877,921 | 239,265 | 638,656 |
| リース信用保険回収返還金支出 | 496,110 | 4,175,877 | △ 3,679,767 |
| 損失補填回収返還金支出 | 546,817 | 422,751 | 124,066 |
| 役員報酬支出 | 11,710,490 | 11,638,376 | 72,114 |
| 給与手当支出 | 198,384,295 | 205,455,940 | △ 7,071,645 |
| 福利厚生費支出 | 76,269,771 | 78,338,304 | △ 2,068,533 |
| 退職給付支出 | 24,304,189 | 14,042,371 | 10,261,818 |
| 報酬支出 | 253,826,940 | 249,110,886 | 4,716,054 |
| 通勤手当支出 | 11,841,565 | 12,088,952 | △ 247,387 |
| 謝金支出 | 85,766,456 | 95,645,200 | △ 9,878,744 |
| 旅費支出 | 17,254,234 | 16,389,173 | 865,061 |
| 保険料支出 | 460,570 | 532,230 | △ 71,660 |
| 租税公課支出 | 25,383,044 | 28,426,631 | △ 3,043,587 |
| 事務費支出 | 99,475,011 | 105,117,646 | △ 5,642,635 |
| 備品費支出 | 3,754,267 | 5,170,814 | △ 1,416,547 |
| 使用料及び賃借料支出 | 69,829,320 | 67,125,866 | 2,703,454 |
| 委託料支出 | 179,571,647 | 166,721,466 | 12,850,181 |
| 負担金支出 | 40,737,691 | 32,684,469 | 8,053,222 |
| 支払利息支出 | 1,500,329 | 1,533,695 | △ 33,366 |
| 預研究機器費支出 | 1,509,200 | 2,748,900 | △ 1,239,700 |
| 助成金支出 | 107,108,968 | 61,019,000 | 46,089,968 |
| リース資産使用料支出 | 6,011,701 | 8,122,788 | △ 2,111,087 |
| 基盤技術補助金立替金支出 | 46,264,554 | 89,509,700 | △ 43,245,146 |
| 外国出願補助金立替金支出 | 4,516,000 | 2,482,000 | 2,034,000 |
| 成長型開発補助金立替金支出 | 48,072,933 | 21,134,263 | 26,938,670 |
| 雑費支出 | 961,353 | 850,000 | 111,353 |

3. キャッシュ・フロー計算書（直接法）

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

（単位：円）

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 管理費支出 | 160,205,243 | 168,989,156 | △ 8,783,913 |
| 役員報酬支出 | 27,373,710 | 27,234,327 | 139,383 |
| 給料手当支出 | 73,612,429 | 73,265,850 | 346,579 |
| 福利厚生費支出 | 16,170,719 | 16,576,804 | △ 406,085 |
| 退職給付支出 | 955,472 | 11,672,713 | △ 10,717,241 |
| 報酬支出 | 2,791,873 | 1,530,900 | 1,260,973 |
| 通勤手当支出 | 210,227 | 69,680 | 140,547 |
| 謝金支出 | 5,128,020 | 5,107,780 | 20,240 |
| 旅費支出 | 379,985 | 401,961 | △ 21,976 |
| 租税公課支出 | 1,796,850 | 1,865,038 | △ 68,188 |
| 事務費支出 | 14,021,722 | 11,991,188 | 2,030,534 |
| 備品費支出 | 188,595 | 0 | 188,595 |
| 使用料及び賃借料支出 | 9,333,975 | 8,779,832 | 554,143 |
| 委託料支出 | 1,630,926 | 3,350,182 | △ 1,719,256 |
| 負担金支出 | 3,432,180 | 3,964,341 | △ 532,161 |
| リース資産使用料支出 | 3,178,560 | 3,178,560 | 0 |
| その他事業活動支出 | 155,200 | 134,956 | 20,244 |
| その他支出 | 155,200 | 134,956 | 20,244 |
| 事業活動支出計 | 1,476,795,819 | 1,449,850,675 | 26,945,144 |
| 事業活動によるキャッシュ・フロー | 21,705,832 | 111,014,413 | △ 89,308,581 |
| Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 投資活動収入 | | | |
| 基本財産取崩収入 | 0 | 20,000,000 | △ 20,000,000 |
| 基本財産投資有価証券償還収入 | 0 | 19,991,000 | △ 19,991,000 |
| 基本財産預金取崩収入 | 0 | 9,000 | △ 9,000 |
| 特定資産取崩収入 | 171,887,731 | 168,189,715 | 3,698,016 |
| 退職給付引当資産取崩収入 | 17,958,936 | 23,416,817 | △ 5,457,881 |
| 共済年金引当資産取崩収入 | 948,650 | 882,108 | 66,542 |
| 償還準備積立資産取崩収入 | 9,600,000 | 42,925,250 | △ 33,325,250 |
| 貸倒引当資産S取崩収入 | 0 | 565,964 | △ 565,964 |
| 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産取崩収入 | 143,000,000 | 100,000,000 | 43,000,000 |
| 復興ファンド積立資産取崩収入 | 380,145 | 399,576 | △ 19,431 |
| 出資金分配収入 | 2,292,920 | 0 | 2,292,920 |
| 出資金分配収入 | 2,292,920 | 0 | 2,292,920 |
| 投資活動収入計 | 174,180,651 | 188,189,715 | △ 14,009,064 |
| 2. 投資活動支出 | | | |
| 基本財産取得支出 | 0 | 20,000,000 | △ 20,000,000 |
| 基本財産投資有価証券購入支出 | 0 | 20,000,000 | △ 20,000,000 |
| 特定資産取得支出 | 169,766,805 | 133,766,558 | 36,000,247 |
| 退職給付引当資産取得支出 | 10,930,374 | 16,110,109 | △ 5,179,735 |
| 共済年金引当資産取得支出 | 585,350 | 620,550 | △ 35,200 |
| 償還準備積立資産取得支出 | 9,600,000 | 11,558,000 | △ 1,958,000 |
| 貸倒引当資産S取得支出 | 801 | 800 | 1 |
| 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産取得支出 | 148,650,280 | 105,477,099 | 43,173,181 |
| 固定資産取得支出 | 0 | 668,360 | △ 668,360 |
| 器具備品購入支出 | 0 | 668,360 | △ 668,360 |
| 出資金支出 | 40,888 | 59,280 | △ 18,392 |
| 出資金支出 | 40,888 | 59,280 | △ 18,392 |
| 投資活動支出計 | 169,807,693 | 154,494,198 | 15,313,495 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 4,372,958 | 33,695,517 | △ 29,322,559 |
| Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー | | | |
| 1. 財務活動収入 | | | |
| 借入金収入 | 110,000,000 | 130,000,000 | △ 20,000,000 |
| 事業運転資金借入金収入 | 110,000,000 | 130,000,000 | △ 20,000,000 |
| 財務活動収入計 | 110,000,000 | 130,000,000 | △ 20,000,000 |
| 2. 財務活動支出 | | | |
| 借入金返済支出 | 142,232,177 | 243,265,546 | △ 101,033,369 |
| 事業運転資金借入金返済支出 | 130,000,000 | 200,000,000 | △ 70,000,000 |
| 県借入金返済支出 | 12,232,177 | 43,265,546 | △ 31,033,369 |
| 財務活動支出計 | 142,232,177 | 243,265,546 | △ 101,033,369 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 32,232,177 | △ 113,265,546 | 81,033,369 |
| Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額 | △ 6,153,387 | 31,444,384 | △ 37,597,771 |
| Ⅴ 現金及び現金同等物の期首残高 | 235,784,324 | 204,339,940 | 31,444,384 |
| Ⅵ 現金及び現金同等物の期末残高 | 229,630,937 | 235,784,324 | △ 6,153,387 |

4. 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。なお、現在保有分については取得価額と額面金額との差額について重要性が乏しいため、実施していない。

2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法によっている。

3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産・・・定額法によっている。

②リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
主なリース資産の内容は、事務機器等である。

4) 引当金の計上基準

①貸倒引当金・・・債権等の貸倒に備えるため以下の基準により計上している。

【設備貸与事業】

第Ⅰ分類・回収期日未到来のもの・・・2/100

第Ⅱ分類・5年以内に回収見込みのもの・・・20/100

第Ⅲ分類・6年以上の長期間で回収見込みのもの・・・70/100

第Ⅳ分類・回収見込みのないもの・・・100/100

【被災中小企業施設・設備整備支援事業】

千葉県の方針に基づき17.4/100としている。

なお、回収見込みのない債権について100/100としている。

②退職給付引当金・・・期末退職給与の職員退職手当等支給規程要支給額に相当する金額を計上している。

③共済年金引当金・・・全国中小企業振興機関共済会との契約に基づく法人の期末要負担額を計上している。

④賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

5) 重要な収益及び費用の計上基準

①ファイナンス・リース取引に係る売上高及び売上原価の計上基準

リース料を収受すべき時に売上高と売上原価を計上する方法によっている。

②割賦販売に係る売上高及び売上原価の計上基準

割賦金の回収期限到来時に売上高と売上原価を計上する方法によっている。

6) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲には、現金及び現金同等物を含めている。

7) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|-------------------------|----------------|------------|------------|----------------|
| 基本財産 | | | | |
| 共同発行市場公募地方債 | 229,000,000 | 0 | 0 | 229,000,000 |
| 大阪府公債 | 5,000,000 | 0 | 0 | 5,000,000 |
| 神奈川県公募公債 | 710,000,000 | 0 | 0 | 710,000,000 |
| 三重県公債 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 千葉県公債 | 10,000,000 | 0 | 0 | 10,000,000 |
| 小 計 | 964,000,000 | 0 | 0 | 964,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 272,228,606 | 10,930,374 | 17,958,936 | 265,200,044 |
| 共済年金引当資産 | 10,322,126 | 585,350 | 948,650 | 9,958,826 |
| 収支差額変動準備金 積立資産 | 87,995,474 | 0 | 0 | 87,995,474 |
| 償還準備積立資産 | 1,600,000 | 0 | 0 | 1,600,000 |
| 貸倒引当資産 | 65,188,414 | 801 | 0 | 65,189,215 |
| 元気づくり基金積立資産 | 8,010,000,000 | 0 | 0 | 8,010,000,000 |
| 農商工連携基金積立資産 | 2,510,000,000 | 0 | 0 | 2,510,000,000 |
| 被災中小企業施設・設備 整備基金積立資産 | 640,840,387 | 5,650,280 | 0 | 646,490,667 |
| 復興ファンド積立資産 | 13,196,184 | 0 | 380,145 | 12,816,039 |
| 小 計 | 11,611,371,191 | 17,166,805 | 19,287,731 | 11,609,250,265 |
| 合 計 | 12,575,371,191 | 17,166,805 | 19,287,731 | 12,573,250,265 |

(3) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち、指定正味財産からの充当額) | (うち、一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|---------------------|----------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 基本財産 | | | | |
| 共同発行市場公募地方債 | 229,000,000 | (229,000,000) | — | — |
| 大阪府公債 | 5,000,000 | (5,000,000) | — | — |
| 神奈川県公募公債 | 710,000,000 | (710,000,000) | — | — |
| 三重県公債 | 10,000,000 | (10,000,000) | — | — |
| 千葉県公債 | 10,000,000 | (10,000,000) | — | — |
| 小 計 | 964,000,000 | (964,000,000) | — | — |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 265,200,044 | — | — | (265,200,044) |
| 共済年金引当資産 | 9,958,826 | — | — | (9,958,826) |
| 収支差額変動準備金積立資産 | 87,995,474 | — | (87,995,474) | — |
| 償還準備積立資産 | 1,600,000 | — | — | (1,600,000) |
| 貸倒引当資産 | 65,189,215 | — | — | (65,189,215) |
| 元気づくり基金積立資産 | 8,010,000,000 | — | — | (8,010,000,000) |
| 農商工連携基金積立資産 | 2,510,000,000 | — | — | (2,510,000,000) |
| 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産 | 646,490,667 | — | — | (646,490,667) |
| 復興ファンド積立資産 | 12,816,039 | — | — | (12,816,039) |
| 小 計 | 11,609,250,265 | 0 | (87,995,474) | (11,521,254,791) |
| 合 計 | 12,573,250,265 | (964,000,000) | (87,995,474) | (11,521,254,791) |

(4) 担保に供した資産等

(単位：円)

| 担保に供している資産 | | 担保資産に対応する債務 | |
|---------------------|---------------|-------------|---------------|
| 元気づくり基金積立資産 | 8,010,000,000 | 県借入金 | 7,410,000,000 |
| | | その他借入金 | 600,000,000 |
| 農商工基金積立資産 | 2,510,000,000 | 県借入金 | 2,510,000,000 |
| 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産 | 583,000,000 | 県借入金 | 583,000,000 |

(5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高 (単位：円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|------------|------------|------------|
| 建物附属設備 | 4,730,000 | 1,261,333 | 3,468,667 |
| 器具備品 | 3,868,033 | 3,091,969 | 776,064 |
| リース資産 | 51,900,732 | 41,825,832 | 10,074,900 |

(6) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 |
|------------------|----------------|----------------|---------------|
| 30年度第4回千葉県公募公債 | 600,000,000 | 596,940,000 | △ 3,060,000 |
| 千葉県令和4年度第8回公募公債 | 10,000,000 | 10,007,000 | 7,000 |
| 第198回共同発行市場公募地方債 | 2,510,000,000 | 2,449,509,000 | △ 60,491,000 |
| 第186回共同発行市場公募地方債 | 7,410,000,000 | 7,359,093,000 | △ 50,907,000 |
| 第226回共同発行市場公募地方債 | 229,000,000 | 220,849,890 | △ 8,150,110 |
| 132回利付国庫債 | 39,331,600 | 43,500,000 | 4,168,400 |
| 405回大阪府公募公債 | 99,755,000 | 99,857,900 | 102,900 |
| 478回大阪府公募公債 | 5,000,000 | 4,816,500 | △ 183,500 |
| 31回神奈川県公募公債 | 300,000,000 | 302,580,000 | 2,580,000 |
| 48回神奈川県公募公債 | 400,000,000 | 347,920,000 | △ 52,080,000 |
| 257回神奈川県公募公債 | 10,000,000 | 9,729,000 | △ 271,000 |
| 堺市平成25年度第1回公募公債 | 300,000,000 | 321,187,800 | 21,187,800 |
| 三重県令和元年度第1回公募公債 | 30,000,000 | 29,400,000 | △ 600,000 |
| 埼玉県令和4年度第2回公募公債 | 100,000,000 | 99,170,000 | △ 830,000 |
| 計 | 12,043,086,600 | 11,894,560,090 | △ 148,526,510 |

(注) 時価は、取引先証券会社等の時価情報の数値を使用した。

(7) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|---------|------------|-------|-------------|-------------|-------|-------------|
| 補助金 | | | | | | |
| 国庫補助金 | 関東経済産業局 | 0 | 8,806,835 | 8,806,835 | 0 | |
| 県補助金 | 千葉県 | 0 | 645,156,785 | 645,156,785 | 0 | |
| その他補助金 | 船橋市 | 0 | 10,000,000 | 10,000,000 | 0 | |
| 〃 | 中小企業基盤整備機構 | 0 | 41,491,122 | 41,491,122 | 0 | |
| 計 | | 0 | 705,454,742 | 705,454,742 | 0 | |

(8) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 内容 | 金額 |
|-----------|-----------|
| 経常収益への振替額 | |
| 基本財産受取利息 | 5,658,467 |
| 合計 | 5,658,467 |

(9) 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

| 種類 | 法人等の名称 | 住所 | 資産総額 (単位：億円) | 事業の内容 又は職業 | 議決所有権 の割合 | 関係内容 | | 取引の内容 | 取引金額 (単位：円) | 科目 | 期末残高 (単位：円) |
|------|--------|-----------------------|--------------------------------------------|---------------|--------------|------------|--------------------------------------|-------|---------------------------|------|----------------|
| | | | | | | 役員の 兼務等 | 事業上の 関係 | | | | |
| 支配法人 | 千葉県 | 千葉市中 央区市場 町1番1号 | 65,476 (令和4年 度千葉県全 体財務書 類) | 地方公共団 体 | - | - | 千葉県の 産業政策 をともに 推進する 支援機関 | 補助金 | 645,156,785 | 未収金 | 56,579,785 |
| | | | | | | | | 受託金 | 524,980,872 | 未収金 | 64,749,307 |
| | | | | | | | | 借入 | (実行) 0 (返済) 12,232,177 | 県借入金 | 10,621,251,368 |

(10) キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

| 前 期 末 | | 当 期 末 | |
|------------------|-------------|------------------|-------------|
| 現金預金勘定 | 235,784,324 | 現金預金勘定 | 229,630,937 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 0 | 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | 0 |
| 現金及び現金同等物 | 235,784,324 | 現金及び現金同等物 | 229,630,937 |

5. 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

(2) 引当金の明細

(単位：円)

| 区 分 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|--------------|-------------|------------|------------|------------|-------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 272,228,606 | 10,930,374 | 17,675,823 | 283,113 | 265,200,044 |
| 共済年金引当金 | 10,322,126 | 585,350 | 948,650 | 0 | 9,958,826 |
| 賞与引当金 | 22,785,000 | 21,824,000 | 22,785,000 | 0 | 21,824,000 |
| 貸倒引当金 | 6,540,401 | 6,530,401 | 0 | 6,540,401 | 6,530,401 |
| 被災支援貸付金貸倒引当金 | 29,750,036 | 26,900,108 | 0 | 29,750,036 | 26,900,108 |

(注) 退職給付引当金の当期減少額「その他」は要引当額の減少による戻入額。
 貸倒引当金及び被災支援貸付金貸倒引当金の当期減少額「その他」は、洗替方式による戻入額。

6. 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|-----------------|---------------------|----------------------------------------|--------------------|
| (流動資産) | | | |
| 現金 | 手元保管 | 運転資金として | 40,142 |
| 預金 | 千葉銀行・本店 他2件 | 運転資金として | 229,590,795 |
| 割賦販売未収金 | 未収 1件 | 割賦に係る設備の未収額 | 4,993,000 |
| | 未収 1件 | 割賦に係る損料の未収額 | 115,473 |
| 未収金 | 国等への未収金 | 公益目的事業及び公益目的事業に必要な収益事業等その他業務に係る未収事業収入 | 279,483,384 |
| 1年以内回収予定被災支援貸付金 | 被災支援貸付分 4件 | 被災支援貸付金のうち、1年以内に償還予定のもの | 8,172,000 |
| その他流動資産 | | 公益目的事業及び公益目的事業に必要な収益事業等その他業務に係るその他流動資産 | 714,892 |
| 貸倒引当金 | 貸与・貸付企業 5件分 | 債権等の貸倒に備えるための引当金 | △ 6,530,401 |
| 流動資産合計 | | | 516,579,285 |
| (固定資産) | | | |
| 基本財産 | 投資有価証券 | 第226回共同発行市場公募地方債 他 | 723,000,000 |
| | 投資有価証券 | 第226回共同発行市場公募地方債 他 | 241,000,000 |
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | 職員に対するもの 千葉銀行・本店 | 145,445,044 |
| | | 第405回大阪府公募公債 | 99,755,000 |
| | | 令和元年度第1回三重県公債 | 20,000,000 |
| | 共済年金引当資産 | 職員に対するもの | 9,958,826 |
| | 収支差額変動準備金積立資産 | 千葉銀行・本店 他1件 | 87,995,474 |
| | 償還準備積立資産 | 千葉興業銀行・本店 | 1,600,000 |
| | 貸倒引当資産 | 千葉銀行・本店 | 25,187,174 |
| | | 千葉銀行・本店 | 40,002,041 |
| | 元気づくり基金積立資産 | 第186回共同発行市場公募地方債 他 | 8,010,000,000 |
| | 農商工連携基金積立資産 | 第198回共同発行市場公募地方債 | 2,510,000,000 |
| | 被災中小企業施設・設備整備基金積立資産 | 千葉銀行・本店 | 64,159,067 |
| | | 千葉銀行・本店 | 143,000,000 |
| | | 132回利付国庫債 他 | 439,331,600 |
| | 復興ファンド積立資産 | 千葉銀行・本店 | 12,816,039 |
| その他固定資産 | 建物附属設備 | 1件 | 3,468,667 |

6. 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------------|--------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------|
| 器具備品 | 6件 | 公益目的保有財産であり、耐用年数1年以上及び取得価格20万円以上の公益目的事業に使用している器具等 | 776,064 |
| リース資産 | リース資産 2件 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している事業用事務機器等のリース物件に係る取得価額相当額 | 6,896,340 |
| | リース資産 2件 | 公益目的事業に必要な収益事業等その他業務に使用している事業用事務機器等のリース物件に係る取得価額相当額 | 3,178,560 |
| 電話加入権 | 3回線 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業に使用している | 210,900 |
| 出資金 | 千葉県火災共済(協) | 公益目的保有財産であり、公益目的事業に供する出資金 | 3,686,028 |
| | 千葉産業復興機構投資事業有限責任組合 | 収益事業に供する出資金 | 13,848,263 |
| 被災支援貸付金 | 貸付 4件 | 公益目的保有財産であり、公益目的事業のユーザーへの貸付金 | 66,483,000 |
| 被災支援貸付未収金 | 貸付金未収 2件 | 公益目的事業でユーザーに貸付をした額のうち回収期限経過分の額 | 15,332,066 |
| 被災支援貸付金貸倒引当金 | | 公益目的事業の債権等の貸倒に備える引当金 | △ 26,900,108 |
| 固定資産合計 | | | 12,660,230,045 |
| 資産合計 | | | 13,176,809,330 |
| (流動負債) | | | |
| 未払金 | 助成対象者等に対する未払額 | 支払助成金等 | 75,645,394 |
| 預り金 | 千葉西税務署 他 | 源泉所得税預り金等 | 17,020,034 |
| 短期借入金 | 京葉銀行からの借入金 | 公益目的事業実施のための運転資金として借入れた額 | 110,000,000 |
| 1年以内返済予定長期借入金 | 千葉県及び金融機関からの借入金 | 公益目的事業資金として長期で借入れた額のうち、1年以内に返済予定のもの | 8,172,000 |
| 未払法人税等 | 千葉西税務署 他 | 当期法人税等の未納分 | 70,000 |
| 未払消費税等 | 千葉西税務署 | 当期消費税等の未納分 | 9,294,200 |
| 賞与引当金 | 期末在籍職員分 | 職員の賞与の支払いに備えた引当金 | 21,824,000 |
| その他流動負債 | | 公益目的事業及び公益目的事業に必要な収益事業等その他業務に係るその他流動負債 | 30,000 |
| 流動負債合計 | | | 242,055,628 |
| (固定負債) | | | |
| 県借入金 | 千葉県からの借入金 | 公益目的事業資金として長期で借入れた額 | 10,586,415,066 |
| | 千葉県からの借入金 | 収益事業資金として長期で借入れた額 | 26,664,302 |
| その他借入金 | 金融機関からの借入金 | 公益目的事業資金として長期で借入れた額 | 600,000,000 |
| 退職給付引当金 | 職員に対するもの | 職員への退職金支払いに備えた引当金 | 265,200,044 |
| 共済年金引当金 | 職員に対するもの | 職員への共済年金支払いに備えた引当金 | 9,958,826 |
| リース債務 | リース契約 2件分 | 公益目的事業に使用している事業用事務機器等のリース物件に係る未経過リース料期末残高相当額 | 6,896,340 |

6. 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------|-----------|------------------------------------------------------------------------|----------------|
| | リース契約 2件分 | 公益目的事業に必要な収益事業等 その他業務に使用している事業用事 務機器等のリース物件に係る未経過 リース料期末残高相当額 | 3,178,560 |
| 固定負債合計 | | | 11,498,313,138 |
| 負債合計 | | | 11,740,368,766 |
| 正味財産 | | | 1,436,440,564 |

独立監査人の監査報告書

令和6年5月22日

公益財団法人千葉県産業振興センター
理事長 中村 耕太郎 様

齋藤久晃公認会計士・税理士事務所

公認会計士 齋藤 久晃 ㊞

<財務諸表監査>

監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人千葉県産業振興センターの令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の貸借対照表、損益計算書（公益認定等ガイドラインI-5（1）の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）、キャッシュ・フロー計算書及び財務諸表に対する注記並びに附属明細書について監査し、あわせて、貸借対照表内訳表及び正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「財務諸表等の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書並びに財産目録のうち意見の対象とされていない部分である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の財務諸表等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表等の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表等又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違が

あるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

財務諸表等に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表等を作成するに当たり、理事者は、継続組織の前提に基づき財務諸表等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に基づいて継続組織に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

財務諸表等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的猜疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・理事者が採用した会計方針及び適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・理事者が継続組織を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続組織の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続組織の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表等の注記事項に注意を喚

起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表等の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続組織として存続できなくなる可能性がある。

・財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表等の表示、構成及び内容、並びに財務諸表等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

<財産目録に対する意見>

財産目録に対する監査意見

私は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第23条の規定に基づき、公益財団法人千葉県産業振興センターの令和6年3月31日現在の事業年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

財産目録に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監事の責任は、財産目録作成における理事の職務の執行を監視することにある。

財産目録に対する監査における監査人の責任

監査人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見表明することにある。

利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監 査 報 告 書

令和6年5月22日

公益財団法人千葉県産業振興センター
理事長 中村 耕太郎 様

監 事 今 関 光 俊 ⑩

監 事 澤 田 勲 ⑩

私たち監事は、当センターの令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果につき、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他の重要な会議に出席するほか、理事等から事業の報告を聴取し、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査を行うに当たり、監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を行っていることを認めました。

以上の方法によって、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュフロー計算書を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当センターの状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為及び法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録及びキャッシュフロー計算書の監査結果

会計監査人齋藤久晃の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上